

YMCA News



2025年度
名古屋YMCA 年間聖句

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」

ローマの信徒への手紙12章15節

喜ぶ人と共に、泣く人と共に

日本基督教団東海教会牧師 **和田 芳子** (左)
名古屋YMCA職員 **遠藤 恵美子** (右)



YMCAという団体の基盤であるキリスト教精神とは、イエス様の生き方から学ぶということです。イエス様の生き方を表す言葉の一つが、この聖句です。また、世界YMCAが様々な課題を解決していくために採択した「VISION2030」、名古屋YMCAの将来の道筋である「MAP2030」～Mission Action Pray～とも深くつながる聖句であり、そこには4つの柱があります。

■すべての人々の「居場所」となる活動を展開します

共に喜び、共に泣くということは、共に喜び相手がいる、共に泣く相手がいるということです。それは出会う場があるということです。YMCAが人と人が出会い、親しくなる「居場所」として活動を展開していきます。

■ユースエンパワーメント

YMCAの活動の源である、ユースたちにとって大切なことは、お互いに思いやることです。うまくいったことを共に喜び、失敗したことは、失敗した人の気持ちになって共に泣く。そのようにお互いの体験を仲間同士で共有して、力をつけていきます。

■持続可能な地球のために

人間同士の関係だけでなく、野の花や動物たちも、今の環境で喜んでいるだろうか、実は泣いているのではないだろうかと思いを働かせ、すべてのものが生き生きと過ごせる環境に目を向けていきます。

■公正な世界の実現のために

自分だけでなく、相手の立場や視点に学び、お互いに分かち合います。世界で起きている困難な問題を知り、苦しんでいる人に何かできなくても、共に泣く、思いを共にしていきます。そして共に喜ぶ世界を目指します。

相手の気持ちに寄り添うということは、相手の気持ちを想像する力が大切です。想像する力は自身の体験から実っていく力でもあると思います。私たちが生きていく中では、喜びも、悲しみも存在します。できれば、悲しい思いをしたくないと思ってしまうこともあります。しかし、悲しい思いは相手を思いやる力になる。喜びは相手を励ます力になります。そう思うと、日々のひとつひとつの体験は、心を豊かにし想像力を育む大切な体験です。

この聖句の後には、「せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らしなさい。」と御言葉があります。日々の小さな体験を大切に、相手の心に寄り添う力が平和へ繋がると信じ、この1年を歩んでいきましょう。

VISION2030

各地で頻発する紛争、気候変動、貧困問題など、世界規模の課題が山積する中で世界のYMCAは2022年夏、「世界YMCA Vision2030」を採択しました。下記の「4つの柱」で構成されるこのビジョンは、国連の持続可能な開発目標「SDGs」とも連動した行動目標で、YMCAのグローバル・ネットワークを活用し、世界の課題を解決していくことを目指しています。



Community
Wellbeing

コミュニティ
ウェルビーイング



Meaningful
Work

やりがいのある
仕事と雇用環境
の創造



Sustainable
Planet

持続可能な
地球のために



Just
World

公正な世界の
実現のために

YMCA大会開催告知

2025年6月29日(日)、ルブラ王山にて第12回名古屋YMCA大会を実施します。2025年度の大会は『Vision2030』4つの柱の内、「Meaningful Work やりがいのある仕事と雇用環境の創造」に焦点を当て、幅広い年代の方々から、仕事について短いスピーチをしていただきます。

こういったスピーチを取り入れた背景には、次のようなきっかけがありました。2024年度の大会開催後、参加したユースボランティアリーダーたちから「長い間会員をされている方々の表彰式でのスピーチが楽しかった」という意見が多く寄せられたのです。会員の皆様が若者に対し、自身の仕事等について語る機会は少ないと思います。本大会が世代を超えて交流できる場となれば幸いです。

維持会員であってもなかなか大会に参加されない方々を掘り起こし、“みんなが主役になれるYMCA大会”を目指したいと考えています。ぜひご友人、会員同士で呼び掛け合い、ご参加いただきますようお願いします。
(担当スタッフ 中井 信幸)



日 程：2025年6月29日(日)

場 所：ホテルルブラ王山

愛知県名古屋市千種区覚王山通8丁目18

★ 詳細は決定次第、ホームページの新着情報およびチラシ配布にてご案内いたします。

スピーチをご担当いただく方々には、個別にご連絡いたします。

日本語学院 俳句コンテスト

名古屋YMCA日本語学院で日本語を学んでいる全クラスの学生が作品づくりにチャレンジしました。

五・七・五という少ない文字数で情景や気持ちを表現するのは、とても難しいことですが素晴らしい作品が多くありましたので入賞作品をご紹介します。選考・表彰は、東海ワイズメンズクラブにご協力いただきました。



入賞作品一覧

■最優秀賞

遠くても 心はそばに いつまでも

ナン (ミャンマー)

■優秀賞

空しずか 赤いゆうやけ 幸せね

ビー (ベトナム)

駅の前 人がいきかう 朝の波

セニタ (スリランカ)

■奨励賞

来日し 最初大変 今自由

ミン (ベトナム)

スマホない 昔の僕は 何してた

イェ (台湾)

春なのに 強い風吹き 寒波と言う

カイハ (中国)

遅すぎる 日本の全部 亀みたい

ソル (韓国)

すみません これ出来ません 規則です

カンヒミン (韓国)

2024年度ピアノ発表会

2025年3月1日(土)瑞穂文化小劇場にて、2024年度名古屋YMCA・南山ファミリーYMCA・神沢ファミリーYMCA合同ピアノ発表会を開催しました。開催の前週は雪の降る寒い日が続いたため心配でしたが、当日は晴天に恵まれ、暖かい中で執り行うことができました。

発表会は日頃の練習のモチベーションへつながり、レッスンの成果を披露できる場です。発表曲のイメージに合わせた装いで舞台袖に並ぶ子どもたち。慎重に



登壇し一生懸命演奏する姿と、終わった後の緊張から解き放たれた表情が印象的でした。また、今回は親子連弾で参加された方が複数みえ、子どもたちだけでなく、親御さんと芸術を共有する貴重な機会となっていることをうれしく感じました。

ピアノは続けても、途中で卒業しても、心を育んでくれます。さらに、大きな会場で、たくさんの知らない人の前で緊張を乗り越えたことは、大切な思い出となるでしょう。生徒やご家族、スタッフ、学生ボランティアの皆様のご協力のおかげで、今回も素晴らしい発表会となりました。心より感謝いたします。

(担当スタッフ 渡邊 りいこ)

ピアノクラス年間会員募集中！

無料体験も随時行っておりますので、お気軽にご連絡ください♪

名古屋YMCA本館：052-757-3331

南山ファミリーYMCA：052-831-6968

神沢ファミリーYMCA：052-879-6300



総主事コラム

SX

(サステナビリティ・トランスフォーメーション)

先日「紅ほっぺ」2パック760円のスーパーのポップに引き寄せられ思わず購入。翌週「あきひめ」2パック666円のチラシに誘われ別のスーパーを訪問し、また購入しました。安くて美味しい「いちご」の季節到来です。「愛知県は、いちごをはじめとする多様な農産物が生産されており、特にいちごは全国でも有名な産地のひとつです。愛知県のいちごは、品種が豊富で、特に「紅ほっぺ」や「あきひめ」、さらには「おいCベリー」などが人気です。全国のいちご生産量において、愛知県は上位に位置し、特に温暖な気候がいちご栽培に適しており、高品質な果実が収穫されています。また、愛知県はミカンやレンコン、カボチャ、ナスなどの農産物も名産品として知られています。特に、レンコンの生産量は全国一を誇り、品質の高さでも評価されています。」 ネットで調べるといちごの季節は12月から5月と出てきますが、これ

はクリスマスケーキに合わせてハウス栽培のいちごが出荷されるため、露地栽培のいちごは5月に収穫のピークを迎えます。ビニールハウスを燃料で暖めて作ったいちごは値段が高く、同じハウスでも春を待てば安くて美味しいいちごが手に入ります。栃木県では「とちおとめ」福岡・熊本では「あまおう」、名古屋では愛知県産が、流通コストが削減されてお得です。現代人は、天の恵みである農作物本来の収穫期に地産地消で消費することを忘れて、無駄なコストをかけ unnecessary 贅沢を享受して満足しているようです。ある本に「VUCA(ブーカ)」とよばれる不確実性の高い社会においてはSX持続可能な経営をすることが大切だと、難しい言葉で書かれていましたが、「いちご一会」いちごとの出会いは、大切な事をやさしく教えてくれます。

※DX(デジタル・トランスフォーメーション)

ちなみに、アナログな私が「」内の文章をChatGPTに作ってもらいました。

(中村 隆)

話し方講座発表会のご案内

朗読の集い

～あなたとわたしを繋ぐひととき～

この度、名古屋YMCAで開講している二つの朗読講座が合同で「朗読の集い」を開催することとなりました。コロナ禍の長き時を過ごして、“あなたとわたしを繋ぐひととき”という想いが沸き上がりました。今回の集いでは、各自が選んだ作品がカラフルに踊っています。作品と読み手と皆様を繋ぐひとときをお楽しみください。心よりご来場をお待ち申し上げます。(講師 近藤 よし恵)

日 程：2025年5月29日(木)
時 間：12時開場、12時20分開演
場 所：名古屋YMCA 3階ホール



朗読作品

藤原の桜	志村ふくみ 著
だのきゅう	渋谷勲 脚本
ゴリラの森、言葉の海	山極寿一 著 小川洋子 著
再び……ドライブ?	角野栄子 著
私には家庭がなかった	水上勉 著
果てなき大地の上に	加藤登紀子 著
おいでてこーい	星新一 著
絵本よもやま話	赤羽末吉 著
新しい友との出逢いどんなに齢をとってからでも	日野原重明 著
幸福とは	日野原重明 著
これから	仲間友佑 著
戦争とかぼちゃ	清水たみ子 著
つまらない住宅地のすべての家	津村記久子 著
坊ちゃん	夏目漱石 著
金魚のお使	与謝野晶子 著
百曲がりの河童	松谷みよ子 著
余生	辻井喬 著

維持会員感謝・ご寄付感謝 (2025年2月1日～3月20日)

維持会員

(継続) 義井 裕子 鈴木 浩之 水谷 公亮 鬼頭美恵子 柴田洋治郎 三口 大登 三口あゆみ
榊原 康成 星島 和空 伊左治 真 伊藤 剛 伊藤美穂子 相馬 静香 八木 武志
加藤 朱美 真鍋 孔透 山村 喜久 瀬口 昌久 武田 尚子 河部 薫 小林 純子

寄付金・募金

(クリスマス献金) 田口恭仁子 済田 真美 西井 紅 梅村 真央 朱 思宇
(かみさわ保育園10周年記念基金) 及川 蒼 横井 李紗 園原 里彩 神山 恭昌
(学童キャンプ) ピーナッツ財団

早天祈祷会

日時 4月1日(火)
7:45～8:30
会場 名古屋YMCA3F
奨励 名古屋北教会
山田詩郎先生

ワイズコーナー 4月例会の予定

名古屋	4月8日(火) 19:00～	卓話「シンガポールでの働きについて」 講師 瀬川景子氏	名古屋YMCA
名古屋東海	4月10日(木) 18:45～	未定	ラ・スース アン
名古屋 グランパス	4月9日(水)	卓話「高齢化社会に向けて」 講師 阿部一雄氏	Zoom

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ 052-879-6300
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA
使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2025年度聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)

YMCA News



Vancouver & Los Angeles Camp ～ Sense of wonder ～

名古屋YMCAグローバル事業部 広瀬 謙一

2025年度の夏休み、名古屋YMCAは二つの海外キャンププログラムを主催しています。

一つは、東京・埼玉・横浜・名古屋YMCAが協働で展開する国際交流プログラム「ダイナミックサマー」の中の「バンクーバーキャンプ」です。横浜YMCAと名古屋YMCAが共催するバンクーバーキャンプでは、カナダ西海岸ブリティッシュコロンビア州にある「Camp Elphinstone」に滞在し、現地のキャンパーと寝食を共にしながら、さまざまなプログラムにチャレンジします。Camp Elphinstoneは、大自然に抱かれたサンシャインコーストという美しいエリアに位置するキャンプ場です。太平洋の入り江に面したロケーションを活かしたウォーターフロントプログラムが充実しています。

もう一つは、1964年から名古屋YMCAと交流があり、パートナーシップを結んでいるロサンゼルスYMCAの協力のもとに実施される「ロサンゼルスキャンプ」です。2019年に実施して以来、6年ぶりの開催となります。

15日間に及ぶプログラムには、ロサンゼルスYMCAが運営するキャンプ場「Camp Whittle」にて実施される現地キャンププログラムへの参加、ホームステイ、様々なフィールドトリップが含まれています。パートナーシップを活かした現地サポートのもと、キャンプやホームステイを通じた現地の人々との多くの出会いが待っています。海外キャンプの魅力は、異文化体験、生きた英語環境での生活体験、自然体験などがあります。では「体験」とは何でしょうか。教育学者矢野智司氏によると、「これまで自身の世界を区切っていた枠組みに取り込むこ

とができず、その枠組み自体を大きく揺さぶられる事象との出会い」を体験と呼ぶそうです。こういった事象との出会いには、「驚き」や「感動」が伴います。海外キャンプは、キャンプ場やホームステイ先で感じた人々の優しさ、英語が通じた時の感動（あるいは通じなかった時の悔しさ）、大自然に囲まれて生活する中で気付く自然の尊さなど、毎日が驚きと感動の連続です。「知ることよりも、驚くこと、感じるものが先にくる。そこから学びが発する。」とは、生物学者福岡伸一氏の言葉です。驚きや感動の対象は、参加者が持っている感性によって異なります。

参加者それぞれが自分だけのセンス・オブ・ワンダーに出会い、帰国後はこれまで見ていた日常が少し違って見える、そんなプログラムになればよいと思います。そして、海外にたくさん友だちを作ってきてほしいと思います。

バンクーバーキャンプ

日程：2025年8月1日(金)～8月10日(日)10日間

対象：小学3年生から15歳

詳細：<https://nagoyaymca.org/news/detail/6898/>



ロサンゼルスキャンプ

日程：2025年7月30日(水)～8月13日(水)15日間

対象：小学5年生から16歳

詳細：https://tokyo.ymca.or.jp/camp/program_abroad.html



新採用職員紹介 (日本語学院／かりやYMCA保育園)

気持ち新たに

堀部 有希子



日本語教師という仕事を意識したきっかけは、海外でのホームステイや旅行を通じて外国の文化・人・言語に触れる面白さを知ったことでした。もともと日本語に興味があり、人と接することも好きでしたので、異文化・異言語圏で育った人たちに日本語を教える仕事は魅力的だと思いました。そんな気持ちで日本語教師になり年月は流れ、途中お休みしていた期間もあり、久々に専任教員となった今は様々な変化に驚いてばかりですが、自分をアップデートできるよう努力し、学生たちが楽しく意欲的に勉強に向かえるようサポートできたらと思っています。

ご挨拶

青木 咲妃野



4月から日本語学院で日本語教師として勤務することになりました。学生と一緒に自分自身も成長できるように、自分ができることをひとつずつ増やしていきたいと思っています。学生みなさんが卒業するときに「できるようになった」「この学校を選んでよかった」と思ってもらえるような環境を他の先生方と協力しながら一緒に作りたいと思っています。

まだまだ経験が浅く、初めてのことばかりですが、その初めてを楽しみながら働きたいです。

新しい環境への期待

酒井 陽向



はじめまして、かりやYMCA保育園で勤めさせていただくことになりました。以前は私立幼稚園で3、4歳児を2回、5歳児を3回経験してきました。それぞれ違いがあり、また一人として同じ性格の子どもはいないということを感じながら、日々保育を楽しんでおりました。そして幼稚園だけで

はなく、保育園で勤めることでより自分の可能性が広がるのではないかと思います。新しい環境に一步踏み出すことにしました。今までの経験してきたこと、培ってきたことを、謙虚さを忘れずに、少しでも早く園に貢献できるように努めていきます。

楽しい園生活を一緒に

正木 由樹奈



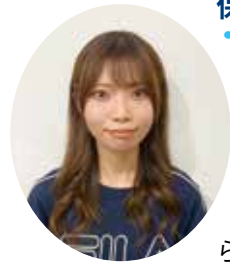
4月からかりやYMCA保育園で働かせていただくことになりました。

子どもたちの笑顔や成長に寄り添える保育の仕事が大好きで、毎日楽しく過ごしています。これからも、保育園が子どもたちにとって安心して過ごせる場所であるよう、明るく元気に関わっていきたいです。

保護者の皆さまや先生方ともたくさん話ししながら、一緒に楽しい園生活を作っていけたら嬉しいです。至らない点多々あるかと思いますが、精一杯頑張ります。

保育士として

高井 文



かりやYMCA保育園で保育士として働かせていただくことになりました。実は一度保育の現場から離れたことがありましたが、ご縁

があり、再びこの素敵な職業に戻ることができ、とても嬉しく思っています。

復職にあたって、子どもたちの成長を見守ったり笑顔を見れたりすることに喜びを感じています。これからも園児一人ひとりの個性を大切にしながら、安心して楽しく過ごせる環境を作りたいです。

そして常に学び続ける姿勢を大切にしたいと思っています。周囲の方々と良好なコミュニケーションを図りながら、よりよい保育ができるように努めていきます。

これから子どもたちと共に、自分自身も成長していけるよう精一杯頑張ります！

日和田薪割りキャンプ

日和田キャンプ場に昨年エンジン駆動の薪割り機が寄贈されました。

薪を作るには、立ち木を間伐、切断、運搬、薪割り、さらに乾燥と年間を通じて多くの作業が必要ですが、薪割り機により薪割り作業が容易になりました。

薪割り機の導入を機に、薪づくり作業を行うことを主目的とした“薪割りキャンプ”をしようということになり、キャンプ好き？有志があつまり、昨年は4回実施、昼間は自然の中で作業、夜は“おいしいご飯”をた

べ、飲み、歓談！楽しい時間を過ごしました。

さらには、もっと日和田に誰でも来られる居場所の一つとして薪割りキャンプを継続してやろうということになりました。

今年度の第一回を4月12日、13日に10名の参加者により開催しました。残雪の残るキャンプ場で作業に汗を流し、夜はちょうど周り一面に芽を出し始めたフキノトウのてんぷらなどをいただきながら、世代を超えて歓談することができました。

“薪割りキャンプ”は今年5月から11月まで毎月1回行う予定です。キャンプ好きな人ならだれでも参加できます。

最後に、薪割り機を寄贈いただいた坂口功佑さんに感謝！

(薪割りキャンプ発起人 吉田 一誠)



開催予定日

5月3～5日、6月14～15日、7月12～13日、8月13～14日、9月20～21日、10月11～12日、11月8～9日

お問い合わせ

info@nagoyaymca.org

総主事コラム

硯川(すずりかわ)ホテル

春のスキーキャンプの宿は、志賀高原熊の湯の硯川ホテル。バスが到着するとすぐに硫黄の臭いがして、子どもたちは“くさいくさい”と声を揃えます。お風呂は臭い通りの硫黄泉で、単独の源泉からのかけ流し。初めてのお客さんからは垢が浮いて汚いと言われることがあるほど、湯船には一面「湯の花」が漂い、温泉好きにはたまらない贅沢な空間が存在します。標高1700mに位置する極寒のロケーションですが、なぜかホテルの中は薄着で過ごすことができるほど暖かです。それは地下80mから湧き出る70度の源泉を循環させて暖房として用い、適温になったところでお風呂に流しているからだと言います。横手山からの伏流水と温泉の恵みで、エネルギー高騰の波を受けずに光熱水費が安く抑え

られているそうです。温泉は湧き出るほどの湯量がなく、地下40mからはポンプで汲み上げているそうですが「足るを知る」、資源を無駄にしないので何十年も安定した湯量が確保されています。一方、温泉の成分から設備の痛みが早いのが悩みの種でもあるようです。日本の有名なスキー場であるニセコや白馬は、外国資本に翻弄されて地価が上昇し、インバウンド向けの高級ホテルに様変わりいたしました。志賀高原の地積は、地元の人々によって構成される和合会の所有で、簡単に売買や新規参入ができない仕組みになっています。その結果、大規模な開発が行われず、昔ながらの風景が保たれています。私たちが子どもたちと学びの多いスキーキャンプを続けていくのには、昔からの知恵が詰まった素敵な宿の存在が不可欠な時代になりました。

(中村 隆)

南山幼稚園 入園式

南山幼稚園では、45名の新入園児と4名の転入園児を迎え、4月8日に始業式、9日に入園式を行いました。

在園児が植えたチューリップや園庭の桜が綺麗に咲いており、神さまに見守られ、穏やかな暖かい日を過ごすことができました。子どもたちは、友だちに会えることを楽しみにしていたり、少し緊張していたり、様々な様子で登園してきました。新しい担任の先生に、新しいピカピカの名札を付けてもらい、誇らしそうに友だちと名札を見せ合っていた子どもたちです。

わたしたちは、子どもも、大人も神さまから愛され、大切にされています。それぞれの良いところを認め合い、安心して幼稚園生活を送れるよう子どもたちの気持ちに寄り添い、毎日を丁寧に過ごしていきたいと思っています。

(教諭 原田 和実)



日本語学校 入学式

名古屋YMCA日本語学院では4月7日に入学式を行いました。

大学や専門学校に進学するため、就職するため、日本で生活するため、と学生たちの目的は様々です。

57名の新入生が入学し、現在、学校には17の国と地域から来た117名の学生が在籍しています。入学式はいつも緊張感のある式になります。それが、卒業式にはにぎやかで楽しい式となるのですから、不思議です。今回の新入生がどのような顔で卒業していくのか、今から楽しみです。

写真の何人かの学生がしてくれている両手でYを作り、顔に添えるポーズを私たちは「Yポーズ」と呼んでいます。ポーズに困ると学生たちから「Yポーズ！」と声が上がります。集合写真は「Yポーズ」では是非！

(教務主任 池田 咲月)



維持会員感謝・ご寄付感謝 (2025年2月1日～3月20日)

維持会員

(継続)	西村 清	西村 牧子	浦田 健治	岩瀬 康彦	三牧 勉	池野 輝昭
	加藤 明宏	木村眞智子	神野 啓子	下村 徹嗣	下村 展子	吉田 一誠
	川本 龍資	磯部 徹	藤田 瑠美	黒田 忠嘉	山本 伸彦	渡邊 信子
	服部 千秋	松井 克己	山口 一雄	小林 滋記	山本 和子	小島とよ子
	田中 万寿	Olson Kikuchi 三恵				

寄付金・募金

(かみさわ保育園10周年記念基金)

西村 清 吉田 一誠 川本 龍資 磯部 徹 藤田 瑠美

早天祈禱会

日時

5月13日(火)
7:45～8:30

会場

名古屋YMCA
チャペル

奨励

松浦 剛先生

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ	052-879-6300
かりやYMCA保育園	0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2025年度聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)

YMCA News

6

名古屋市認可小規模保育園 こひつじ保育室 10周年

保育士 加藤 早織



2025年4月1日に名古屋YMCAこひつじ保育室は、開園10周年を迎える運びとなりました。これもひとえに、日頃より温かいご理解とご支援を賜っております保護者の皆様、地域の皆様、そしてこれまで保育室を支えてくださったすべての関係者の皆様のおかげと、心より感謝いたします。

開園以来、私たちは「一人ひとりを大切に、丁寧にしかかわる保育」を大切にまいりました。神さまに創造されたかけがえのない存在として、一人ひとりの子どもを受け入れ、「愛されている」喜びを日々の生活の中で実感できるように努めてきました。また、違いを認め合い、互いを理解しながら共に生活し、それぞれが「自分らしく」成長できる保育を目指して取り組んでまいりました。

天気の良い日には、戸外で自然や季節の移ろいを感じながら散歩を楽しみ、公園では広場を駆け回る歓声や、夢中で砂遊びをする子どもたちの姿が見られます。運動会などの行事では、その年の子どもたちの姿に合わせて内容を工夫し、子どもたちが主体的に取り組めるよう話し合いを重ねてきました。ときには涙を流しながらも、友だちと手を取り合いながら困難を乗り越える姿に、私たち職員も心を動かされます。

昨年度からは新たに「英語の日」を設け、週に一度、子どもたちが楽しみにする時間となっています。日々の保

育や行事を通して、子どもたちが少しずつ成長していく姿は、私たち職員にとって何よりの喜びであり、かけがえのない宝物です。その笑顔に、私たちは日々大きな力をもたらしています。

この10年間、保護者の皆様と連携しながら、共に子育ての喜びや悩みを分かち合ってきました。連絡帳でのやりとりはもちろん、個人面談などを通してお子様の成長をとともに喜び合い、時には課題を共に乗り越える時間を重ねてまいりました。それらは私たちにとって、大切な財産となっています。「先生、ありがとうございました」「最初の保育園がこひつじ保育室で本当によかった」といったお言葉は、私たちにとって何よりの励みです。

10周年という節目を迎えるにあたり、これまでの歩みを振り返るとともに、これからの10年に向けて新たな決意を胸に歩んでまいります。

これからも、時代の変化や社会のニーズに柔軟に対応しながら、子どもたちが安心して過ごせる安全な環境づくりに努めてまいります。そして、一人ひとりの発達や個性を大切に、豊かな心を育む質の高い保育を提供し続けていきます。

何よりも、地域に根差した保育園として、今後も地域の皆様とのつながりを大切にしながら、共に子どもたちの健やかな成長を育んでいきたいと願っております。



第12回名古屋YMCA大会のご案内

あなたにとってのMeaningful Workとは？

今年度の大会では、Vision 2030の4つの柱のひとつ、「Meaningful Work(やりがいのある仕事と雇用環境の創造)」に焦点を当て、「しごとのやりがい」や「働くことの意味」について、20代から90代までの幅広い世代で語り合うひとときをお届けします。

当日は、様々な職業や世代の方々に5分間のスピーチをしていただきます。下記に、ご担当の一人である岩井洋一様のスピーチの一部を紹介していますので、ぜひご一読ください。

また、世代を超えたグループディスカッションを通して、学びと交流を深めていきます。おじいちゃん・おばあちゃん世代から、パパ・ママ世代、そして子どもや孫世代まで——4世代が一堂に会して語り合う、またとない機会です。

普段なかなか聞けない成功談や失敗談、やりがいを感じたエピソードなどを共有しながら、世代を越えてつながる、あたたかな時間を共に過ごしましょう。



弁護士としてのやりがいと使命

名古屋YMCA評議員 岩井 羊一

弁護士という仕事のやりがいについてお話をさせていただきます。

弁護士の仕事というと、法廷で「異議あり！」と声を上げたり、堂々と弁論する姿を思い浮かべる方も多いでしょう。

しかし実際には、そのような場面は年に数回ほどしかありません。弁護士の仕事の多くは、依頼者の方との打ち合わせと、それに基づく書類の作成です。刑事事件の場合、警察署や拘留所での接見に時間を費やします。どうしてこれらの業務が多いのか。それは、依頼者一人一人のお話を聞き、それを法的に構成し、相

手との交渉や裁判を通じて依頼者の権利を守ることが弁護士の使命だからです。

私は、過労死や過労自殺の問題に関わる中で、労働基準監督署、つまり国の判断や企業の対応をしてきました。国が「過労死ではない」、企業が「責任はない」と主張した事件を裁判所に訴え、最終的に過労死であったこと、そして企業に責任があったことを明らかにし、遺族の救済に繋がったときは、弁護士としての存在意義を実感します。

弁護士という仕事は、困っている方を救済することができ、感謝され、そのうえ、報酬をいただける、とても良い仕事だと感じています。

このような形で、私の思いをお伝えできたことに心より感謝申し上げます。

日 程：2025年6月29日(日)

時 間：13時30分～16時45分

会 場：ルブラ王山 2 階 金鯱

住 所：千種区覚王山通8丁目18

最寄駅：地下鉄東山線「池下駅」下車
3 番出口から徒歩3分

スケジュール

【第一部】

13:15 受付開始

13:30 開会礼拝・表彰

14:30 報告

15:00 休憩(集合写真撮影)

【第二部】

15:15 異世代交流／

5分スピーチ(7名)

16:00 グループディスカッション

16:45 終了

かみさわ保育園

新年度が始まり早1ヶ月半がたち、新しい環境に少しずつ慣れてきたかみさわ保育園の子どもたちです。新入園児の子どもたちは、初めての集団生活、そして初めて保護者の方と離れて過ごす日々、不安で涙の姿も多くありましたが、保育者の顔を覚え、好きなおもちゃを見つけ遊んだり、少しずつですが笑顔も増えて安心して過ごす姿も見られるようになってきました。

在園児の子どもたちは新しい環境に少し緊張しながらも、1つ学年が大きくなり張り切っている姿、お友だちとのやりとりを楽しんでいる姿があります。

子どもたちと日々過ごす中で感じる様々な気持ちに、寄り添い、共感しながら1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。 (園長 東田 美保)



日本語学校 新入生歓迎会

2025年4月30日(水)に新入生歓迎会を開催し、緊張した表情やワクワクした表情を見せる学生などいろいろな表情が見られました。会には新入生に加え、去年入学した学生もサポート係として参加してくれました。先輩として後輩に接する学生を見るのも、学生の成長を感じられる嬉しい時間です。クラスの垣根を超え、ゲームや食事をしたら、自然と友達となり仲良くなっていました。相手が同じ国だと分かると、表情が明るくなりたくさん話し出すのもよくある光景です。異国にいると同邦の人に出会うと嬉しくなるものですね。充実した表情で帰っていく学生を見て、この会が楽しい留学生活のきっかけになればと思います。

(竹内 奈津実)



総主事コラム

ラヴィット

最近お気に入りの朝の帯番組にラヴィットがあります。サブタイトルが“日本でいちばん明るい朝番組”。朝ドラやニュースが常識の時間帯にひたすらバラエティーを繰り返す、実にくだらない番組です。番組キャラクターはウサギなのに司会者が指でL字を作って「ラヴィット」とコールするので違和感がありましたが、実は「Rabbit」ではなく「Love it」、「お気に入り」とか「大好き」という意味です。このあたりの小細工も実はお気に入りの理由です。仕事があるのでたまにしか見ることはできませんが、この番組の素晴らしさは重大な時事問題が起きて一切ぶれずに予定された“くだらない”内容を徹底することにもあります。連続性もないので、久しぶりに観ても違和感

がなく、朝から演者が楽しそうにゲームに興じたり、歌を歌ったり。決して最後まで観る必要もなく、画面を通して、楽しい空気感が共有されています。

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」今年度の年間聖句です。ともすれば聖句の後半部分が強調され、困難な状況にある人に寄り添い共感する事の勧めであると捉えることもありますが、私たちは喜ぶ人と共に喜ぶ居場所でありたいと願います。YMCAに来ると楽しいことが待っている(みつかる)、会いたい人がいる(つながる)、心地よい空間がある(よくなっていく)。聖書は「できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らしなさい」と続きます。名古屋YMCAは“日本でいちばん楽しい居場所”を目指します。

(中村 隆)

新採用職員紹介 (南山幼稚園／南山ファミリーYMCA)

はじめまして

南山幼稚園 花井 瑞歩



4月から南山幼稚園で働かせていただいております。幼い頃から憧れていた幼稚園教諭として、子どもたちと楽しく過ごせることを嬉しく思っております。まだまだ至らないことが多く戸惑うこともあります。先輩の先生方から仕事を教えていただきながら、日々学んでおります。

私は運動が大好きで、中学校及び高校の頃は陸上競技部に所属していました。そのため子どもたちと一緒に、思いっきり身体を使って遊ぶ楽しさを感じていきたいと思います。

休日は自然あふれる場所をドライブしたり、喫茶店巡りをしたりリフレッシュしています。これからよろしく願いいたします。

YMCAとのご縁に感謝です！

南山ファミリーYMCA 江藤 毅



私とYMCAとの出会いは40年前になります。大学4年生の時、大阪堺YMCAでユースボランティアリーダーとしてサッカークラスを担当したことがきっかけです。その後地元に戻り、当時の名古屋YMCA東海ランチや上前津本館の職員として、サッカークラスや野外活動、成人フィットネス、社会体育専門学校教務等、様々な部門で多くの経験をさせていただきました。

一度退職しましたが、この度26年ぶりに南山ファミリーYMCAや刈谷の地でサッカープログラムを担当させていただきご縁をいただきました。子どもたちがサッカーを楽しみ、仲間やリーダーたちとの関わりの中で心も身体も大きく成長することを願っています。

維持会員感謝・ご寄付感謝 (2025年4月20日～5月21日)

維持会員(継続)

黒田 忠嘉	黒田 邦子	山本 伸彦	渡邊 信子	服部 千秋	松井 克己	山口 一雄
小林 滋記	山本 和子	小島とよ子	田中 万寿	桐山 潤	桐山 恵子	岡本 栄世
吉田 一誠	吉田あま子	加藤 渡	牧野 和博	福田 義正	坂本 清則	鈴木誠一郎
渡辺 真悟	嶋崎 英子	寺本 英郎	深谷 聡	磯部 裕幸	磯部真知子	馬場美菜子
水野かきつ	平井 真希	塩田 保	高井 文	板井 裕美	高橋 咲季	酒井 沙織

賛助会員(継続) 丸丹スポーツ用品株式会社

寄付金・募金

(ミャンマー地震緊急支援) かりや保育園

(かみさわ保育園10周年記念基金)

高都持勇人	木村 優花	鴨原奈々子	長谷川未来	井上 裕佳	加藤 正也	加藤 颯真
加藤 百華	清田 真美	清水美佐子	万福寺昭美	柴田 翔	柴田 光	中村 環希
ンバケ武佐	ンバケ真夢ディアラ					

早天祈祷会

日時 6月3日(火) 7:45～8:30 会場 名古屋YMCA チャペル 奨励 御器所教会 八束 清先生

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ	052-879-6300
かりやYMCA保育園	0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2025年度聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)

YMCA News

9

第12回名古屋YMCA大会

2025年6月29日(日) 於 ホテルルブラ王山

あなたにとってのmeaningful workとは？

名古屋YMCA大会実行委員長 河合 皓太

今回のYMCA大会では、vision2030の4つの柱の一つ「meaningful work」に焦点を当て、10代から90代までの幅広い世代が、それぞれの立場で話し合い、仕事のやりがいや働くことの意味について考えました。特に、ユースリーダーにとっては、これから職業選択をしていく上で非常に貴重な経験となったのではないのでしょうか。私も、ゲストスピーカーの話や、その後のグループディスカッションを通して、自分の仕事に対するやりがいや素晴らしさを再認識することができました。

来年度もまた、多くのみなさんとYMCA大会でお会いできることを楽しみにしています。最後になりましたが、YMCA大会を開催するにあたりご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



Meaningful Work

「やってみよう」と背中を押す力

名古屋ワイズメンズクラブ 塩田 保

私は現在95歳になります。昭和5年、大阪に生まれました。幸いにも1年若かったため戦争の経験をすることはありませんでした。戦後の混乱期を経て豊田通商に入社し、商社マンとしての人生を歩み始めました。戦後、世界の需要が急激に高まり、日本からの輸出にも追い風が吹きました。私はその流れの中で、アメリカとの取引に携わるようになり、やがてニューヨークに拠点を開設。その後、現地で20年間勤務しました。

アメリカでの仕事は、言葉も文化も異なる中での挑戦でした。初めて渡米したとき、英語には多少自信があったつもりでしたが、現地では思うように通じず、苦労の連続でした。それでも、「やってみよう」「任せてみるよ」と、

表彰者

(敬称略)

2024年度表彰者

70年：浅野 猛雄
30年：中條 秀和 牧野 和博
20年：井上 剛志 川口 恵
川本 龍資 近藤 よし恵
下村 明子 谷川 修
藤田 瑠美
10年：磯見 あや 河部 薫

2025年度表彰者

70年：加藤 満
60年：久保田 啓 吉田 一誠
50年：加藤 明宏 桐山 潤
相馬 静香 松本 勝
40年：山口 榮三
30年：伊左治 真 春日 裕忠
田中 万寿
10年：清水 美佐子 関谷 久恵
山田 公子

50年以上継続会員

74年：鈴木 浩之
71年：浅野 猛雄
70年：加藤 満
69年：八木 武志
65年：小尾 雅彦
64年：秋重 殉
63年：寺本 英郎
60年：久保田 啓 吉田 一誠
59年：黒田 忠嘉
58年：荒川 文門 岩瀬 康彦
56年：山本 徹
55年：星島 和空 山本 和子
54年：小島 とよ子
53年：池野 輝昭

ユースボランティア認証

伊藤 莉子(ちゅら) 加藤 愛唯(くらりん) 鎌田 桃羽(タルト)
榎田 彩愛(もちもち) 西口 拓海(ペルーガ) 安田 涼帆(クック)

私の背中を押してくれる上司や先輩の存在がありました。その励ましが、私の大きな支えとなりました。

「やってみよう」の一言があったからこそ、私は未知の世界に飛び込み、多くの経験を積むことができました。やがて日本製品は世界で高く評価されるようになり、自動車や電化製品の輸出も拡大。私自身もその一翼を担い、商社マンとして充実した年月を過ごすことができました。今、私が強く感じるのは、「若い人にチャンスを与えることの大切さ」です。迷っている若者の背中をポンと押し、「一度やってみなさい」と声をかける。たった一言で、その人の人生が大きく動き出すことがあります。私がそうして育ててもらったように、次の世代にもその役割を渡していきたいと願っています。

どうか皆さんも、若い人たちに温かな声をかけてあげてください。その一言が、未来を拓く力になると信じています。

**Meaningful Work****やりがいを育む職場づくり**

南山幼稚園 保護者 三輪 剛士

私が「やりがい」と「雇用環境」について深く考えるようになったのは、自身のクリニック開業を準備し、スタッフと共に働く未来を思い描く中でのことでした。

私にとっての「やりがい」は、大きく2つ。社会への貢献を実感すること、そして自らの成長を感じることです。医療職は感謝の言葉を直接いただく機会も多く、貢献実感は得やすいですが、成長や職場での存在

価値は、環境に左右されやすいと感じています。

私は、やりがいは「自ら見つけるもの」であると同時に、「雇用主が創出するもの」でもあると考えています。感謝の言葉を制度化したメッセージカード、成長支援としての勉強会や資格取得支援など、小さな仕組みを積み重ねることで、社員が安心して挑戦し、成長できる場をつくりたいのです。

「ただ働く」のではなく、「自分の専門性を発揮し、社会に貢献しながら成長する」。そんな職場こそが、やりがいある雇用のかたちだと信じて、これから挑戦してまいります。

第32回 インターナショナル・チャリティーラン

今年で32回目を迎えるインターナショナル・チャリティーランは、障がいのある子どもたちを支援するとともに、“障がい”への社会的な理解と関心を高めることを目的とした大会です。皆様からお預かりした支援金は、障がいのある子どもたちの体操教室や様々な体験活動をするための運営費として大切に活用させていただきます。多くの参加者や支援者の皆さまと共に無事に本大会が開催されることを願っています。ご支援・ご協力の程よろしく願いいたします。（担当スタッフ 谷口 みはる）

【日 程】 2025年11月1日(土) 9:30~13:00**【場 所】** 名城公園**【申 込】** 添付のチラシをご確認ください
支援金、賞品協賛のご協力もぜひお願いいたします！**【支援先】** 三菱UFJ銀行 きよなみ支店
普通 1117994 公益財団法人名古屋YMCA

前回は残念ながら大会史上2度目の雨・・・

今年は晴れるように祈りましょう！

新採用職員紹介

南山ファミリーYMCA 秋山 桃子

7月より南山ファミリーYMCAに入職いたしました秋山桃子と申します。未熟な点が多く、日々学びの連続ではありますが、温

かく迎えてくださった皆様のおかげで、少しずつ業務に慣れ、前向きに取り組んでおります。まだまだ学ぶ

べきことは多くありますが、一つひとつの経験を糧に、誠実に、そして丁寧に業務に向き合いながら、着実に成長していきたいと考えております。また、これからも人とのつながりを大切にし、感謝の気持ちを忘れず、地域の皆様や子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本語学校 新入生歓迎会

6月末、バス3台で浜松へ行きました。春と秋の遠足は、勉強とアルバイトで忙しい学生たちが、学校のみんなとバスに揺られて少し遠出ができる楽しい時間です。不安定な天候でしたが、梅雨の晴れ間に恵まれました。今回はお菓子工場を見学し、浜松城公園でランチタイムを過ごした後、メインイベントである浜松まつり会館での凧作り体験をしました。思い思いに絵を描き、日本の伝統文化である凧に触れました。

普段とは少し違う体験の中で、楽しい思い出と、新たな発見や学びをお土産にしてくれているように感じました。
(担当スタッフ 堀部 有希子)



発達サポートYMCAかみさわ

神沢ファミリーYMCAに移転し8か月が経ちました。子どもたちはすっかり新しい環境に慣れたようで、毎日のびのびと過ごしています。

幼児や小学生たちはホールで体を動かしたり、折り紙や塗り絵をしたりと好きな遊びを楽しんでいます。最近のプログラムではかみさわ保育園の園児と交流し、韓国料理の作り方を教えてもらいました。中学生たちは部活やテストで忙しく、通所日数が減ってしまった子もありますが、今年度より高学年向け余暇活動日を設け、会う機会を増やしています。

今後は新しい仲間も迎え、さらに賑やかに過ごしていきたいです。
(担当スタッフ 平 真輝)



総主事コラム

キャンプ最高!再考?

今年の夏も、日和田高原キャンプ場には多くの子どもたち(大人たちも)が訪れてくれました。8月前半、名古屋市内は40度近い酷暑でしたが、標高1,400メートルのキャンプ場は極めて快適です。若い頃はキャンプ場に着くと「あれをしたい」「これもしたい」と、プログラムを考えるのが楽しみでした。しかし年を重ねるにつれ、何もしない「のんびりキャンプ」の良さを感じるようになりました。

昼過ぎにキャンプ場に到着した子どもたちは、飛び跳ねるバツタに興味津々。けれども、まずはお弁当を食べ、持ってきた荷物を部屋に運ばなければなりません。「先にお弁当を食べてから遊びなさい」ではなく、「まずはバツタを捕まえてもいいよ」と言ってあげたいと思いませんか?

メインロッジ前の水場では、御岳山の湧き水が常時ホースから流れています。暑い夏には水遊びが最高です。「濡れるから水遊び禁止」ではなく、「濡れたら着替えればええやん」と思います。

野外料理の定番、カレー作り。燃えそうな薪を集めて、マッチで火をつけます。初めての火起こし。効率よく火

をつけるために手順を細かく教えるよりも、100回失敗する方が面白い。どうしても困ったときに、そっと教えてあげるのが大人の役目です。

優しい大人たちに囲まれて、本当に何もしなかった低学年の子。最後には大人に本気で怒られていましたが、そんな時でも最後まで優しく接していたのは高学年のお兄さんでした。

明け方の気温は20度を下回り、肌寒さを感じるほどですが、夜寝る時間の室内はまだ蒸し暑く感じます。それでも子どもたちは、額に汗を浮かべながら寝袋にくるまって眠っています。暑かったら寝袋から出たらいいのにと思いましたが、引率の先生は「初めての寝袋が嬉しいから」と、優しく見守ってくれていました。

自由な時間が多いほど、子どもたちはさまざまな発見をするでしょう。たくさんのバツタを虫かごに入れていたお友だちは、帰る時にはすべて自然に戻し、「この周りはバツタだらけだよ」と、なぜか誇らしげに話していました。

自然の中でみんなと暮らす時間は、やっぱり面白い。心からそう思える、素敵な夏でした。

(中村 隆)

こひつじ保育室10周年

10周年記念同窓会

6月29日(日)に記念同窓会を開催しました。当日は在園児及び卒園児のご家族をはじめ、平井真紀前園長、先生たち等、多くの方々にご参加いただき、笑顔あふれるひとときとなりました。

中井信幸園長による記念礼拝から始まり、心ひとつに讃美歌『この花のように』を歌いました。また、おもいでムービーの鑑賞、ミニゲーム、写真展示を行い、交流を楽しみました。「大きくなりましたね!!」「会えて嬉しい」と再会と成長を歓ぶ声が響きました。こひつじ保育室での思い出が、今後の人生をより豊かにするものであるようお願いしています。(保育士 田邊 英里香)



寄付のお願い

10周年記念募金を実施いたします。

開園当初に整えた保育用品は、10年間大切に使い続けてきましたが、散歩車や玩具、椅子等に破損や消耗が目立つようになっていきます。特に散歩車は安全面からも買い替えが必要な時期を迎えています。

これからの10年も、子どもたちが安心・安全に過ごせる環境を守るため、新しい保育用品の導入を計画しています。

未来を担う子どもたちのために、温かいご支援・ご寄付をよろしくお願い申し上げます。

【寄付の方法】

- ①ゆうちょ銀行振込：同封の振込用紙をご利用ください
- ②銀行振込：下記銀行口座へお振込みください
三菱UFJ銀行 きよなみ支店 普通 1117991
公益財団法人名古屋YMCA
- ③窓口：名古屋YMCA各拠点窓口にてお支払いください

維持会員感謝・ご寄付感謝 (2025年6月20日～8月21日)

維持会員(継続)

伊藤 暢浩 秋重 殉 林 敦子 山口 朋楓 大田美沙華 深谷 萌菜 酒井 陽向 星島 和空
橋本 啓 伊左治 真 井上 剛志 川口 恵 斉藤 典子 深谷 朗子 磯部 徹 久保田 啓

賛助会員(継続)

株式会社中島建築事務所 株式会社テツタニ タイガー総業株式会社 オリエンタルビル株式会社
ホーユー株式会社 日研オフィスシステム株式会社 豊田通商株式会社 東海窯業原料株式会社 株式会社矢場とん
中部日本放送株式会社 敷島製パン株式会社 株式会社イズミック 日本特殊陶業株式会社 岡谷鋼機株式会社 他

寄付金・募金

(学童キャンプ)

吉川 裕子 義井 裕子 名古屋ロータリークラブ 磯部 徹
林 敦子 渡辺 孝 塩田 保 柳生 祥子 小尾 雅彦
牧野 和博 下村 徹嗣 坂口 功祐

(YMCA大会) グランパスワイズメンズクラブ

早天祈祷会

日時 9月2日(火) 7:45～
会場 名古屋YMCA チャペル
奨励 田原吉胡伝道所代務
高岡 清先生

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ 052-879-6300
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA
使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2025年度聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)



2025年 10月 1日発行
1952年 5月 13日発刊
毎月1日 (月刊定価1部60円)
(購読料はYMCA会費に含まれています)
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村 隆
●編集人 名古屋YMCA広報

YMCA News

10

共に生きる 世界の実現を目指して 「間違い」と「違い」

名古屋YMCA評議員 金 智重



『名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。』

今更ですが、名古屋YMCAはこの『名古屋YMCAの使命』のもと、幼児教育・野外活動・日本語学校など様々なプログラムを展開しています。今現在、私個人も様々な活動に携わるにあたって、この『名古屋YMCAの使命』が大きな指針になっていることを強く感じています。特に、『相互の交わりと連帯を通して』というところは、常に意識をしているところです。何故ならば、私たちを取りまく日本社会が分裂と分断を繰り返す状況が続いていると感じるからです。「勝ち組vs負け組」、「既得権益者vs非既得権益者」、こどもたちの世界である学校に至っても「スクールカースト」など例を挙げたらキリがないくらいです。自分の優位性を基準に他者を抑圧し、支配する。上下の関係を作ることによって、自らの存在意義を確認しているのです。いわゆる“いじめ”の構造と言えるでしょう。また近年毎日のように行われているヘイトスピーチも分断と分裂を促す行動の象徴だと思います。ヘイトスピーチについては国連で、『ある個人や集団について、その人が何者であるか、すなわち宗教・民族・国籍・人種・肌の色・血統・ジェンダーまたは他のアイデンティティー要素を基に、それらを攻撃する、または軽蔑的もしくは差別的な言葉を使用する、発話・文章または行動上のあらゆる種類のコミュニケーション』と定義されています。私も在日韓国人という属性から近年特にこのヘイトスピーチには心を痛めています。「〇〇がいるから社会が良くならない」「〇〇たちが特権を持っているから私たちが不幸だ」など、敵を作ることによって自らを正当化しよ

うとしているのです。その対象の人たちがどんなに苦しみ、悲しむかはお構いなしに。

近年この行動や思考は、民間の活動に留まらず、政治の場でも顕著に現れてきていると感じています。「外国人が生活保護を悪用している」「外国人が増えたせいで、日本人の仕事が激減している」などをはじめとする事実元に付かない情報を含めて発信することにより注目を集め、自分たちの主張に都合の悪い情報や出来事には、陰謀論だと主張することで独自性をアピールしています。敵を作ることによって不安や不満が解消されるのか、または陰謀論等による知的好奇心が満足されるのかもしれませんが。このような主張を持つ政党や政治家が多く支持を得ているのが今の社会現象です。SNSの発達と同時に多くのデマを含む色々な情報がすぐに拡散されてしまう社会構造や私たちの情報リテラシーなど様々な問題や課題はあるにせよ、これらの行動や発言の根底は、分裂と分断を前提としているのです。平たく言い換えると自分と他者の間に、間(壁)を作り、その「違い」を表現・指摘することで自らを正当化しようとしているのです。つまり他者の「間違い」を攻撃することで自分を正当化するのは、言い換えれば、他者や敵を作ることができなければ、自らの正当性や存在意義を確認できないということになります。果たしてこんな寂しい社会でいいのでしょうか？

この社会に住む多くの人々が、敵を作って得られる存在意義ではなく、『相互の交わりと連帯を通して』得られる存在意義を持って喜びとする社会が必要なのではないでしょうか。そのためにも我々1人ひとりが、自分と他者との関係に「間」を作って「間違い」を主張するのではなく、「間」を取り除いて「違い」を認め合う行動が大切なのではないかと考えています。それこそが、『共に生きる世界の実現を目指す』ということではないのでしょうか。

第12回 名古屋YMCA大会 スピーチ

利他の心でつながる世界

下村 徹嗣



私は今年83歳になります。35年間のサラリーマン生活を経て、60歳からは牧師として13年間奉仕し、今はキリスト教会や関連団体に関わる奉仕活動が続けています。

YMCAとの関わりは、今からおよそ30年前に始まりました。当時、理事長だった野村さんから声をかけていただいたことがきっかけです。その後、評議員、理事、監事などを務め、今は維持会員として早天祈祷会に出席しています。

私が社会に出たのは1965年のことです。日本国有鉄道、いわゆる国鉄に入社しました。前年には東京オリンピックが開かれ、東海道新幹線も開通し、日本中が希望に満ちていた時代でした。しかし現実には、国

鉄はすでに大きな赤字を抱えていて、労使関係も複雑になり、やがて経営が行き詰まり、分割民営化へと進んでいきました。私はその渦中で、労働組合との交渉を担当する部署に勤務していました。団体交渉や職場の巡回指導の場では、怒声を浴びたり、冷たい視線を向けられたりすることもありました。同じ職場で働く者同士が、ここまで対立し、憎しみ合わなければならないのかと、強い悲しみと恐れを感じたことを覚えています。

そうした経験を通して、私は1985年のクリスマスにキリスト教の洗礼を受けました。人は時に、互いに敵対し、傷つけ合うことがあります。しかし、83年生きてきて私が今確信しているのは、「人と人とは理解し合い、利他の心を持って、互いに愛し合うことの大切さ」です。それが、今の私の生きる目標であり、人生を通じて学んだ最も大切なことです。

働く意味は子どもたちの成長の中に

福原 汐音



私は10年前に名古屋YMCAでリーダー活動を始め、大学卒業後も評議員として関わりながら、現在は小学校教員として働いています。今年で社会人6年目です。

これまで1年生から6年生、そして特別支援学級まで、多くの子どもたちと向き合ってきました。入学したばかりの1年生の中には、教室に入れず毎朝下駄箱で泣いていた子もいました。しかし、少しずつ学校に慣れ、初めて給食を完食した日に「せんせい、できたよ!」と笑顔で伝えてくれた姿は今も忘れられません。高学年では、反抗期で本音を隠す子どもたちとぶつ

り合うこともあります。ある日、真剣に叱った後に「先生、話を聞いてくれてありがとう」と言われました。その言葉に、信頼関係は厳しさの先にも築けるのだと気づかされました。また特別支援学級の4年生の男の子が、何年もかけて「5+4=9」を自分の力で解けるようになった瞬間の喜びは、他にはかえられません。小さな一歩が、大きな成長の証なのです。

働く意味とは「誰かの未来を支えること」だと考えています。子どもたちの中にある可能性という「種」に気づき、「できた」という芽を育てることこそ、教員の使命です。やがてその芽が子どもたち自身の力で花開く日を信じて、これからも一人ひとりの成長に寄り添い続けたいと思います。

新採用職員紹介



南山ファミリーYMCA 和田 夕里奈

9月より南山ファミリーYMCA にて務めさせていただくこととなりました。

今までは水泳の先生をしており、チャレンジする姿勢や、子どもの様々な感情や、成長していく姿を楽しく見守ってきました。

体操の指導においても、いち早くお力になれるよう、子どもたちの成長をサポートできるよう努めてまいります。

また、自分の趣味でもある、野外活動にも携わらせていただきます。日常生活ではできない体験・経験を経て、大きく成長してもらえよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

イベント告知

南山バザー

南山幼稚園と南山ファミリーYMCA共催で行う南山バザーは、毎年大勢の人たちで賑わいます。地域の方々はもちろん、卒園児やその保護者、YMCAの元スタッフなども訪れ、なつかしい



再会の場ともなっています。模擬店、ゲーム、お買い物…子どもも大人も楽しめる南山バザーへ、みなさんぜひお越しください。

【日 時】 2025年10月26日(日) 10:00~14:00

【場 所】 南山幼稚園

チャリティーゴルフ

第32回チャリティーゴルフ2025を開催いたします。毎年の恒例行事としてスケジュールに丸をつけてくださっている方も、ゴルフを始めた方、初めて参加される方も楽しめるイベントです。



参加費は、「貧困児童対策の学童キャンプ」「東日本大震災復興」「留学生」への支援として寄付いたします。ぜひご参加お待ちしております。詳細や申込については同封のチラシをご覧ください。

【日 程】 2025年11月13日(木)

【場 所】 鈴鹿カンツリークラブ

総主事コラム

イチイ(一位)の木

岐阜県の県木であるイチイの木。岐阜県高山市高根村に位置する日和田高原キャンプ場では、1983年の開設時にキャンプ場の入り口とメインロッジの前に数本のイチイの木が植えられました。イチイの木は日陰を好む成長の遅い木で、材質が良く、岐阜県飛騨地方で作られている一位一刀彫(いちいいっとうぼり)の原木となります。一位一刀彫の特徴は、飛騨の銘木の中でも樹齢400年から500年を経た貴重な木材を利用することで、内側の赤っぽい「赤太」と、外側の白っぽい「白太」の二色の部分の絶妙な色合いが作品に個性を出しています。キャンプ場に植えられたイチイの木は樹齢40年。まだまだ幼子のレベルです。

数年前、隣の木と干渉し合い、窮屈そうにしていたイチイの木の様子によりやく気づき、密接していたイチイの木の間伐を行いました。30年ぶりに成長する空間を与

えられたイチイの木は命を吹き返し、枝葉を横に広げ大きく成長しましたが、太い一本の幹ではなく細い幹が重なり合って枝葉を支えています。一方、広い空間に一本だけ植えられていたイチイの木は、太い幹を持ち、他のどの木よりも大きく成長しています。秋になると真っ赤な実をつけるイチイの木。果肉(仮種皮)は食べることができますが、種(種子)は猛毒で数粒食べると死に至ると言われています。鮮やかな赤い実は鳥たちに餌として提供されますが、鳥たちによって遠くへ運ばれ、蒔かれる種ともなる大自然の摂理にはいつも驚かされます。

キャンプ場のメインロッジの前に椅子を置き、じっと目の前の風景を眺めていると、樹木の声や風の彩り、空の青さや虫の音色など見えないものが見えるような気がします。キャンプ場の入り口にあるイチイの木は、他の樹木に囲われて青色吐息。ようやく、一日かけて下草を刈り、枝打ちを行ったので、次に会える日が楽しみです。

(中村 隆)

日本語学校

8月29日、文化祭を実施しました。授業内予選を勝ち抜いた学生によるスピーチ大会をはじめ、有志発表、ファッションショー、腕立て伏せ大会など多彩な内容で、大いに盛り上がりました。本番に向けて司会やスピーチ、ダンスなどの練習を重ね、学生自らの力で創り上げていく姿に、私自身も大きな活力をもらいました。当日は、普段なかなか接する機会の少ないチューターさんや理事長、他クラスの学生とも生き生きと交流する様子が見られ、笑顔あふれる一日となりました。文化祭を通して学生の成長と結束を実感することができました。

(青木 咲紀野)



こひつじ保育室

こひつじ保育室では、2024年度より英語クラスを始めました。昨年は緊張して涙を見せることもあった子どもたちも、現在は2歳児クラスに成長し、楽しむ姿が見られるようになりました。

また7月と9月には、新しいお友だちを迎えました。初めての環境や雰囲気戸惑う子もいましたが、日々の関わりを通して少しずつ園での生活に慣れ、仲間と一緒に過ごす楽しさを感じ始めています。夏には、水遊びを中心に氷や泡、チカバルーン等を使った様々な感触遊びを存分に楽しみました。これから迎える秋は、心地よい気候のもと、自然にたくさん触れながら過ごしていきたいと思います。

(保育士 古賀 千尋)



維持会員感謝・ご寄付感謝

維持会員(継続)

近藤よし恵	船戸 章	阿部 一雄	信田伊知郎	高田 士嗣	服部 庄三	早川 政人	松原 行謙
中條 秀和	黒柳 麻琴	牛田賢一郎	春日 裕忠	藤田 瑠美	荒川 恭次	荒川 恒子	水谷 克巳
水谷 里美	小尾 雅彦	小尾 昌代	荒川 文門	吉川 裕子	榎田 勝利		

寄付金・募金

(学童キャンプ)

中井 信幸	加藤 明宏	吉田 一誠	荒川 恭次	中条 秀和	松井 克己	坂口 公美	林 敦子
多湖みずほ	渡辺 真悟	ミヅセイジ					

(こひつじ保育園10周年記念募金)

山口 幸子	相馬 静香	野村 靖子	牧野 和博
-------	-------	-------	-------

(チャリティーラン)

義井 裕子	三木まゆみ	尾國 尚二	近藤産興株式会社
-------	-------	-------	----------

早天祈祷会

日時 10月7日(火) 7:45~8:30
会場 名古屋YMCA 5階チャペル
奨励 日本キリスト教団名古屋教会
田口博之先生

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ	052-879-6300
かりやYMCA保育園	0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA
使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2025年度聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)

YMCA News

11

ホッとキャンプ ～外国にルーツをもつヤングケアラーのためのキャンプ～

名古屋YMCAウエルネススタッフ 瀬川 景子

10月4日～5日、びわ湖青少年の家にて、外国にルーツをもつヤングケアラーを対象とした1泊2日の「ホッとキャンプ」を実施し、中高生18名が参加しました。このキャンプは、名古屋YWCAからの依頼を受け、文部科学省の補助金事業としてYMCAが協働で運営したもので、家庭を支える役割を担う子どもたちが安心して自分らしく過ごせる「ホッとできる時間」を持つことを目的としています。

ヤングケアラーとは、こども家庭庁によれば「本来大人が担う家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども・若者」と定義されています。全国調査では、小学6年生の6.5%、中学2年生の5.7%、高校2年生の4.1%が「世話をしている家族がいる」と回答しており、1クラスに1～2人程度存在すると推測されます。特に外国にルーツを持つ子どもたちの中には、親が日本語に不慣れなため、行政手続きや学校との連絡、医療の通訳などを担うケースもあり、家庭内で大きな責任を果たしていることが少なくありません。こうした背景から、ヤングケアラーとなるリスクが高まる傾向が指摘されています。

今回の参加者の多くも、早朝からアルバイトをして家計を支えたり、弟妹の世話や家事を担ったりと、日常的に家庭を支える立場にありました。シングルマザー家庭や家庭内での虐待を経験した子もあり、びわ湖で過ごす1泊2日が“誰かを支える時間”ではなく、“自分が安心して過ごせる時間”になってほしいという思いを込めて準備を進めました。事前にはヤングケアラー支援の専門家や日本語講師を交えたミーティングを行い、「やさしい日本語」や文化的配慮について学びました。キャンプ中も子どもたちの表情や言葉に寄り添い、一人ひとりが自分のペースで過ごせるよう心を配りました。



初日はあいにくの雨でしたが、室内プログラムで交流を深め、夜のキャンプファイヤーでは歌と笑顔があふれました。翌日のびわ湖でのカッター体験では、声を掛け合いながら息を合わせるうちに一体感が生まれ、活動後に湖へ飛び込んだ子どもたちは、無邪気に水を掛け合いながら笑顔を見せ、心から楽しむ姿が印象的でした。

キャンプ中は、子ども同士が母語や共通の言葉で助け合う場面も多く見られ、互いを思いやる姿が心に残りました。母国ではない場所で困難な状況にある子どもたちが、同じ境遇の仲間と出会い、つながりを広げていくことは、今後の彼らを支える大切な力になると感じます。

不安や緊張を抱えながらも、生活や活動を共にする中で少しずつ笑顔や会話がが増えていった子どもたちの姿から、改めてキャンプの持つ力を実感しました。情報や支援が届きにくい子どもたちにどのように手を差し伸べていくかという課題は残りますが、小さな一歩を積み重ねることで、また新しい出会いと気づきが生まれるはずです。今後もこの取り組みを継続し、第二回「ホッとキャンプ」の実現を目指していききたいと思います。

チャイルドケア

保育園・幼稚園の運動会

南山幼稚園

きもちを一つに

2学期が始まると同時に、年長児は毎朝園庭で運動会の活動をスタートしました。年長児ならではの競技、特にパラバルーン、フラッグ、リレーでは、昨年から憧れや期待を胸に取り組んできました。タイミングを合わせる難しさや、勝敗への悔しさを感じることもありましたが、そうした経験がクラスの気持ちを一つにするきっかけとなりました。当日は、これまでの積み重ねから自信に満ちた表情の子、少し緊張している子など様々でしたが、やり遂げたあとの誇らしげな笑顔から大きな成長が感じられました。満三と年

少、年中も別日に行いましたが、どの学年も多くの保護者に見守られ、子どもたち一人ひとりが輝く運動会となりました。
(草間 舞香)



かみさわ保育園

仲間とともに

当日はあいにくの天気の中でしたが子どもたちのたくさんのいい顔を見ることができました。練習では



「どうしたらカッコいいかな」「はやく走るにはこの順番がいい」とたくさん相談をする姿がありました。運動会の日が近づくにつれて「楽しみだね」「早く来ないかな」とわくわくして当日を迎えました。

本番ではこれまでの練習で頑張ってきたことがたくさん生かされ、カッコいい、すてきな姿をたくさん見せてくれました。運動会の最後のリレーの勝負では、競り合いの中わずかな差での決着でした。嬉しくて喜ぶ子、悔しくて涙があふれる子とさまざまな表情を見ることができました。

運動会を通して、仲間とともに頑張ることの楽しさや勝負の面白さに気づいてくれていることを願います。
(中村 美沙)

かりやYMCA保育園

楽しむ中に…

「親子で運動遊びを楽しむ」をテーマに考えたプレイヤー。日々の生活の中で子どもたちの楽しいを引き出しながら当日を迎えました。

親子競技では思う存分楽しみ、リレーやバルーンでは、楽しいの中に、悔しい気持ち、もっと早く走りたい…等、いろいろな気持ちと出会う素敵な時間となりました。

友達と励まし合い、みんなで協力して成し遂げた子どもたちはキラキラの笑顔で輝いていました。

親子で楽しみ、成長を感じられるプレイヤーとなりました。
(高橋 咲季)



イベント告知

名古屋YMCAクリスマスキャロル



今年で23回目を迎え、多くの方々のご協力のもと、このイベントを続けられることを嬉しく思います。讃美歌やクリスマスの歌を合唱し、共に祝いましょう！

【日 時】2025年12月6日(土) 14:30～15:10

【会 場】名古屋駅 JRセントラルタワーズテラス

【参加費】成人2,000円、年中児～大学生1,000円

【申 込】前月号同封チラシのFAX提出またはお電話(052-757-3331)にてご連絡ください。

YMCA / YWCA 合同祈禱週

YMCA / YWCA 合同祈禱週2025を開催します。今年のテーマは「Jubilee:150 Years of Prayer in Action. ヨベルの年の祝祭 祈りと行動の150年」。第1部は日本キリスト教団田中真希子先生をお招きし、礼拝を行います。第2部では、名古屋YWCAの「沖縄スタディツアー」、名古屋YMCAの「ロサンゼルスキャンプ」、名古屋

屋YWCAとYMCAが共同で実施した「ホッとキャンプ」について、それぞれご報告いたします。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

【日 時】2025年11月15日(土) 10:00～11:30

【会 場】名古屋YWCA2階+Zoom

【参加費】無料

【申 込】メールアドレス(info@nagoyaymca.org)またはお電話(052-757-3331)にてご連絡ください。11月12日(水)締切

総主事コラム

献 杯

先日、ある先輩が天の国へと旅立たれました。享年83歳。私との出会いは、13年前に名古屋に赴任して以来のお付き合いです。とにかく破天荒な方で、いろいろと名古屋の街を連れ回していただきました。ある日の昼、仕事上の私に電話があり、名鉄百貨店の寿司屋にいるからとお誘いがありました。急いで駆けつけるとカウンターの奥の席に座っておられ、既にほろ酔い気分です。いつもほんの僅かな肴をあてに、ひたすら日本酒をヌル爛ならぬドン爛で飲み続けるのが彼のスタイル。「あんたは食べたらええねん」と言われますが、高級寿司屋で自由に頼めるわけもなく、ガリを肴にひたすら日本酒のお付き合い。メは決まっかねえ巻きでした。夕刻までお付き合いをし、次は2時間ほどサウナへ。酔いを醒まして再び同じ寿司屋に戻るのも彼のスタイルです。再び日本酒を飲み続け、ようやく次の店に向かいますが、長い夜はまだ続きます。酔うたびに「あんたが名古屋

屋に来てくれてよかったわ」と言われることもいつも通り。私とは短いお付き合いでしたが、強烈なインパクトを残されました。学校は途中でリタイヤされていますが、とにかく博学で物知り。人脈の広さと深さは桁外れ。絶対に嘘だと思ような話が、ほとんど真実であるという、実に不思議な方でした。名古屋YMCAとの関りは中学生時代の少年部活動から始まり、私よりも遥かに長い時間、濃厚な交わりをされた方が多数いらっしゃいます。その一人ひとりの胸の内には、語り尽くせない思い出が今も色鮮やかに生きています。残念ながらご家族に先立たれ、身内の方がいらっしゃらない葬儀となりましたが、多くの仲間に見守られ旅立たれていきました。そんな素敵な先輩がすべての旅たちの準備を終えられた時に、「残された遺産はすべて名古屋YMCAに寄贈する」との遺言を残されました。金額の多寡ではなく、その思いに胸が熱くなると共に、その思いに応える責任を感じています。

本当に最後まで飲み続けられた人生に献杯！

(中村 隆)

海外キャンプ報告

Connected by Heart – Summer in Los Angeles

私はこの夏、ロサンゼルスキャンプに引率リーダーとして参加し、子どもたちと共にかけがえのない経験をすることができました。

子どもたちは、日本とは異なる景色に目を輝かせ、ロサンゼルスYMCAによる温かいサポートの中でのびのびと過ごすことができました。山火事により、キャ



ンプ場での生活は短縮となりましたが、私たちは自然の中で生かされているということを改めて実感しました。ここで感じた悔しさは、キャンプの思い出をより色濃く残し、新たな目標に繋がる大きな財産となったと感じています。

キャンプ場での活動が短縮となっても、現地のスタッフの支えでさまざまな活動への参加が叶い、子どもたちは自分なりの方法で、新たな仲間と一生懸命コミュニケーションを取っていました。現地のデイプログラムに参加した際には、現地のスポーツや日本の折り紙を共に楽しみ、関係性がどんどん深まっていきました。特に、常に行動を共にしてくれた現地スタッフとは、「また会おう！」と約束しないと離れられないほど強い心のつながりが生まれました。

このキャンプでの経験が、子どもたち一人ひとりのこれからの歩みの中で、さまざまな花を咲かせていくことを願っています。（ゴールドリーダー 加藤 愛）

維持会員感謝・ご寄付感謝

※ご寄付をいただくタイミングによっては、掲載が前後する場合がございますのでご容赦ください

維持会員(継続)

原 寛 高橋 榮一 浅野 猛雄 鈴木 賢治 近藤 保彦 渡辺 孝 中根 和隆 坂口 功祐

寄付金・募金

(学童キャンプ)

畑 佳子 藤田 瑠美 堀 里美

(こひつじ保育園10周年記念募金)

阿部建設株式会社 杉山 弘時

(チャリティーラン)

福島 照 辻 恵子 山田 幸子 杉浦 典男 義井みどり 中部日本放送株式会社

株式会社三菱UFJ銀行 小澤金属工業株式会社 東海ワイズメンズクラブ 東海窯業原料株式会社

名古屋大須ロータリークラブ

(国際協力基金)

り ゆはん 坂野 心優 米村 文杜 朱 皓宇

川本 悠友 吉田 あき 竹本 えま 竹本ももは

松尾 貴美

(クリスマスキャロル)

千年エンジニアリング株式会社

早天祈祷会

日時 11月4日(火) 7:45~8:30

会場 名古屋YMCA 5階チャペル

奨励 大島 純男 先生

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ 052-879-6300
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA
使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2025年度聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)

YMCA News 12



クリスマスのご挨拶

日本キリスト教団 南山教会 牧師 村山 盛芳



季節のご挨拶、「クリスマス、おめでとうございます!」、「Merry Christmas!」。昔は、クリスマスカードでこんなやり取りがなされていました。今はメール、いやLINE、もっと別のツールが利用されているのかもしれませんが、なぜ、クリスマスがめでたいのでしょうか。「merry」は「おめでとう」という意味なのでしょう。英和辞典を開いてみますと、形容詞の merry は、1.(人、笑いなどが)楽しい、陽気な、快活(活発)な、浮かれた、2.ほろ酔いの、と述べられています。確かに、私も含めて周りでも、この時期は陽気な人、ほろ酔いの人がたくさんいる気がしますが。

季節の色、クリスマスカラーは何色がご存じでしょうか。この時期、多くのお店でクリスマスカラーの包み紙が使用されています。「あか・しろ・みどり」がクリスマスカラーの色です。サンタクロースの衣装、雪、クリスマスツリーの色、は確かにその色ですが……。実は、赤は、血を表しています。白は無実・無罪を、緑は年中枯れない緑色の葉が永遠の命を示しているのです。

クリスマスは、救い主(キリスト)イエスの誕生日です。Christ(キリスト)の誕生を祝い、mass(ミサ・礼拝)をする時がクリスマスなのです。キリスト・イエスは、神さまのたった一人しかいない子どもです。神の子が、人と同じように人間の母マリアから生まれ、

大工の子どもとして育ち、救い主として十字架で処刑され、よみに下り、三日目に復活されました。人間の辛さ、楽しさ、家族のあたたかさ、難しさ、生きることの喜び、悲しみを全てご存じの方が、神の子で罪が無いのに、私たち全ての人間の身代わりになって十字架にかかり、死に打ち勝ってよみがえって下さったのです。白は罪のないイエス、赤はイエスが身代わりになって十字架にかかって流された血、その死と復活によってイエスを信じる者に永遠の命を与えられた、その事を信じ、喜び、感謝して礼拝するのです。何を礼拝するのでしょうか。それは、イエスを救い主と信じる人たちが、イエスを与えてくださった神さまを礼拝するのです。

クリスマスの喜びは、飲み食いやプレゼントの喜びではありません。それはそれで楽しいものですが、キリスト者の喜びは自分の罪が赦されて、永遠の命が約束されて、平安の中に置いていただいていることです。それは、神の一人だけの子どもの命で全ての人の罪を無かったことにしてくださるという、痛みを伴った神の大きな愛によるものです。だから、クリスマスを喜んで礼拝を神にささげるのです。今年のクリスマス、神さまの事、全ての人に注がれている愛のこと、考えてみませんか。Merryで素敵なクリスマスをお過ごしください。クリスマス、おめでとうございます。



第32回インターナショナル・チャリティーラン

11月1日(土)、32回目のインターナショナル・チャリティーランを開催いたしました。前日の空には怪しげな雲がかかり、雨天に見舞われた昨年の大会が思い出されましたが、そんな不安も皆様の祈りによって乗り越えられました。爽やかな気候の中、374名ものランナーが素晴らしい走りをみせてくれました。また運営費・賞品・チームスポンサーやボランティア、ユースリーダー、ワイズメンズクラブ、スタッフ等、多くの方々よりご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

参加費および寄付金は3,205,633円にのぼり、閉会式にて深谷聡実行委員長から中村隆総主事へ授与されました。こちらはすべて支援金として、全国のYMCAで行われる障がい児プログラムや発達支援事業施設整備に充てさせていただきます。今後も障がいのある子どもたちへの支援を続けていくと共に、「目的をもって



走る楽しさ」を伝えていく所存です。ぜひ来年もご参加をお待ちしております。

なお、本大会の詳細は報告書として皆様へ共有させていただく予定です。今回はその中から一足先に、南山ファミリーYMCAサポート体育クラスをご紹介します。このクラスは名古屋YMCAが実施している発達支援事業のひとつであり、チャリティーランの支援対象です。
(チャリティーラン実行委員会)

【事業報告】サポート体育クラス

サポート体育では、年中児～小学校6年生までの子どもたちが、週に1回広い体育館でリーダーやお友だちと一緒に元気いっぱい身体を動かしています。クラスでは、子どもたち一人ひとりが様々なことにチャレンジできる場所となるよう取り組んでいます。

準備体操では、広い体育館をみんなで思いっきり走るところから始まります。その他にも模倣運動や補強運動を繰り返し行い、自分のからだを支える・バランスを取るなど必要な力を身に付けます。「トランポリン・マット・鉄棒・跳び箱」の体



操器具を使ったサーキット練習では、普段の生活では体験できない様々な動きを経験し、子どもたちのできることを一つずつ増やしていきます。また、クラスでは器械運動だけでなく、縄跳びやボールを使った体育遊びも行います。体育遊びで楽しく身体を動かしながら、仲間とともに「できた!」「やってみよう!」などの前向きな気持ちを育むことができるようプログラムを実施しています。

今年のチャリティーマラソンは、3人のお友だちが参加してくれました。中には、はじめて参加する子どももいましたが、たくさんの方々の温かい声援が力となり、全員がリーダーや保護者の方と一緒に最後まで走り切ることができました。順番を待っているときは緊張し、落ち着かない様子も見られましたが、次のお友だちにタスキを渡すとき、ゴールをするときは笑顔で輝いていました。この経験が大きな自信につながり、これからの活動に活かされることを願っています。

これからも、子どもたちがクラスの中でたくさん経験が積み重ねられるよう、引き続きご支援よろしくお願いいたします。

(担当スタッフ 磯部 萌香)

クリスマス献金のお願い

クリスマスの喜びを、未来へ、平和へ

名古屋YMCAでは、毎年「クリスマス献金」をお願いしています。いただいた献金は、三つのことにささげられます。一つは「青少年育成」。子どもたちを育てていくこと、そして子どもたちの体験を広げていくことです。もう一つが「国際協力」。日本を飛び出して、世界の仲間たちと直接出会って理解し合うこと、日本で学ぶ留学生たちを支えることです。そして「地域奉仕」は、クリスマスの喜びを聖歌隊の讃美歌を通してお伝えし、地域で活動している人たちと協働していくことです。これらのことは、私たちが今、最も大切にしていかなければならないことではないでしょうか。

皆さんにお支えいただくこれらの活動は、私たちが

生きている地域で支え合っていくという身近な活動から、未来に向かって歩み出し、平和な社会をつくっていくという壮大な夢のなかにあります。皆さんのイエスさまを迎える喜びを、平和と、未来に向けて、分かち合っていきましょう。

(クリスマス献金委員会委員長 東海教会牧師 和田 芳子)

【受付期間】2025年12月1日(月)～2026年1月31日(土)

【献金方法】① 各YMCA窓口

② 銀行口座振り込み

三菱UFJ銀行 きよなみ支店 普通
1117998 公益財団法人名古屋YMCA

③ 同封のゆうちょ振替用紙

※詳細は同封のチラシをご覧ください。

青少年育成



貧困児童対策として実施している学童キャンプです。豊かな自然体験と交流の場を提供しています。

国際協力



昨今の物価高騰によって圧迫する留学生の生活を支援をしています。

地域奉仕



名古屋駅にてクリスマスキャロルを歌い、地域の皆様と共にクリスマス祝っています。

総主事コラム

車窓

「しなの」から「あずさ」へ。鉄道好きならすぐに路線と風景が浮かぶことでしょう。名古屋から山梨(甲府)へ出張するために買い求めた特急券です。名古屋駅から木曽川沿いに中央線で塩尻まで行き、そこで乗り換えて甲府に向かいます。乗り継ぎの時間は30分。長いようですが途中下車も可能ですので、何もない？駅周辺を散策するのも乙なものです。私は「鉄ちゃん」ではありませんが、それでも移り行く風景をぼんやり眺める時間は心が癒されます。名古屋駅では「佳よし」のきしめん、南木曽駅からは欧米系のツーリストがリュックを背に大勢乗り込んでこられました。塩尻駅には構内にあるブドウ園と日本一小さい立ち食いそば屋があり、改札を出ると塩尻ワインが並んでいます。上諏訪駅には足湯があり、諏訪湖周辺は日本酒の蔵元が点在しています。南アルプスを西側

に望みながら少し走り、小淵沢を過ぎると東側に八ヶ岳が綺麗に見えてきました。そして甲府に近づくと正面南側に初冠雪を待ち望む富士山がその雄大な姿を現しました。

一方、普段利用している名古屋市地下鉄の車内では、ほとんどの人がスマホ片手に無表情で画面を覗き込むか、真剣な表情でゲームに熱中しています。数年前までは新聞や文庫本を読む人も見かけましたが、いまでは絶滅危惧種となってしまいました。路線の多くが地中深いトンネルを走り、大量の電力を消費して時間と効率を求めたリニアの車内は果たしてどのような光景なのでしょう。

地方路線の各駅にはそれぞれの名産があり、今回は特急列車ではなく普通列車で、出張ではなく一人旅を愉しみたいと思います。帰路には、例年より21日遅れて初冠雪を迎えた富士山が、その雄大な姿を誇らしげに見せながら見送ってくれました。(中村 隆)

維持会員感謝・ご寄付感謝

※ご寄付をいただくタイミングによっては、掲載が前後する場合がございますのでご容赦ください

維持会員(継続)

伊藤 剛 伊藤美穂子 遠藤 通寛 中村 隆 松本 勝 松本 淳子 榊原 康成 杉浦 光子
 三枝 隆 谷川 修 野村 靖子 藤若 雪絵 加藤 満 川瀬 恒史 林 左希也 下村 明子
 渡邊 徹朗 山本 徹 山本 清子 尾関めぐみ 六車 康廣 鈴木 浩之

寄付金・募金

(学童キャンプ)

中村 隆

(チャリティーラン)

義井 裕子 三木まゆみ 尾國 尚二 福島 照 辻 恵子 山田 幸子 杉浦 典男 義井みどり
 深谷 聡 柴田洋治郎 中村 隆
 名古屋ワイズメンズクラブ 名古屋ロータリークラブ 近藤産興株式会社 スペシャルオリンピックス日本・愛知
 株式会社名エングループ本社 名鉄六合株式会社 中部日本放送株式会社 名古屋キリスト教社会館
 小澤金属工業株式会社 東海ワイズメンズクラブ 東海窯業原料株式会社 名古屋大須ロータリークラブ 游神会
 株式会社三祐コンサルタンツ 名古屋栄ロータリークラブ グランパスワイズメンズクラブ FCウェルネス
 藤田螺子工業株式会社 古庄電機産業株式会社 矢作建設工業株式会社 三菱商事株式会社 株式会社三菱UFJ銀行

(チャリティーゴルフ)

神谷 正博 寺久保吉雄 橋本 広和 西川 勝彦 山村 善久 木下 雅博 高嶋 諭子 金 智重
 樋上 恵一 遠藤 通寛 佐藤 孝司 幡南 進 渡壁 十郎 牧 賢範 井上 剛志 西村 太一
 坂東 徹也 鈴木 孝典 本田 皓耀 藤本 義浩 犬飼 達彦 神谷浩二郎 堀井 力 中野 一郎
 田邊 義博 太田 全哉 汲田 哲也 上原 勝秀 吉田 一誠 樋上 乾太 岡田 貴 高坂 明彦
 石倉 尚 宮本 鉄也 島本 晃世 松永 留依 池田 竜 長屋 孝司 福世 茂樹 星島 和空
 柘植 均 和田 直之 古賀 大志 久田 康博 若城 正裕 坂田 和之 鈴木 奔 西田 典央
 田中 英治 笠間 正浩 鈴木 陽子 小島 英恵 森 孝 亀井 元 香山 章治 本庄 茂博
 原 嘉都成 藤田 瑠美 都築 真希 長谷部義範 大崎 忠正 小尾 雅彦 石田 知弘 大島 亮輔
 小林 博 榎木 徳子 日下部高德 高津宏一郎 中根 和隆 猪飼 康夫 加志 勉 村井 伸夫
 水野 孝志 松田 裕之 西堀 靖子 川本 龍資 山田 孝夫 水谷 亮太 小尾 康人 原田 啓
 太田 一紀 稲垣 宏 中村 隆

(国際協力基金)

天野伊津歌 中島 一恵 広瀬 謙一 林 左希也 深谷 聡 安藤 剛 川本 龍資 下村 明子
 中村 隆 安藤 千尋 中野 葉月 杉山 弘時 義井 裕子 渡辺 孝 磯部 徹 渡辺 祐人
 遠藤恵美子 近藤 広都 鈴木 瑛菜 原田 和実 江藤 毅 光田 進吾 光田 圭吾 清田 真美
 牧野 和博 田中 咲空 瀬川和歌奈 岡島 由奈 岡島 諒 石井 宏明 西川 芽依 木下はるき
 太田 啓慎 中野 快俐 足立 智美 細萱 柚希 加藤 千尋 田中 万寿 相馬 静香 都築 正和
 高橋 榮一 松田 裕之 神野 啓子 三ツ井多美子

あらふか あこ うかい まもる

オモオモレギー ジェームス エヒース

(クリスマスキャロル)

小尾 雅彦

12月
早天祈祷会

日時 12月2日(火) 7:45～

会場 名古屋YMCA 5階チャペル

奨励 名古屋新生教会 安達正樹 先生

11月号のクリスマスキャロル開催日時に誤りがございましたので、訂正いたします。

【日時】 2025年 12月 6日(土) 14:30～15:10

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
 YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
 南山ファミリーYMCA 052-831-6968
 南山幼稚園 052-831-8271
 神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
 YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
 名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
 発達サポートYMCAかみさわ 052-879-6300
 かりやYMCA保育園 0566-62-8227


<https://nagoyaymca.org>
名古屋YMCA
使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2025年度聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)



2026年1月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日（月刊定価1部60円）
（購読料はYMCA会費に含まれています）
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村隆
●編集人 名古屋YMCA広報

YMCA News

1

新春座談会

社会に出てYMCAに

関わって良かったこと

かんとか それではまず、社会人になって改めて感じたリーダー時代の経験の良さについて、簡単にお話しただけです。

みつ 三年前にやったキャンプファイヤーは今でも鮮明に覚えています。みんなでひとつのイベントを作るのがすごく楽しかったです。何事もワクワクする方向へ考えを切り替える力は今も健在です。

ゴールド 就職活動でインターンに参加することが多くて、グループワークを一日行いうちに、YMCAで培った経験が自然に出ていたんだと思います。自分では意識していなかったけど、みんなからリーダーに推薦してもらえました。

ねこピン 大学卒業後もずっと繋がっていて、支え合える仲間が多くいるのはとても大きいです。IT未経験で今の会社に入ったので、毎日わからないことだらけでしんどいと感じることも多いです。腕時計の待ち受けをリーダーたちの写真にして、すぐにみんなの笑顔を見られるようにしています！

パルム 子どもたちとの活動から保護者の方との関わりまで、リーダー経験のすべてが活かされています。本当にリーダーをやっていたよかったです。もし経験がなかったら、何もできない社会人になっていたと思います。

いんどん リーダーとして、子どもたちと同じ目線で考えたり体験したりしたことは、教員として子どもたちと接する上でとても役に立っています。教育者とリーダーとの二つの視点から子どもたちのことを考えられることは、自分の強みになっていると思います。

卒業後もYMCAに

関わり続ける理由

かんとか なるほど、皆さんリーダー時代の経験が今の生活に活きているんですね。では次に、卒業後もYMCAに関わり続けてくれるリーダーが非常に少ない中、今も継続してくれている理由やきっかけについて教えてください。

いんどん 大学四年生の時に、YMCA日和田高原キャンプ場で全国リーダー研修会が開催されました。この研修会でたくさんの方々と関わる中で、卒業後もYMCAとの関わりをもち続けたいと思うようになりました。卒業後は、同期や先輩のリーダーたちと誘い合い、毎年YMCA日和田高原キャンプ場へ遊びに行っていました。今では、YMCA大会の実行委員としてYMCAとの関わりをもつことができ、これまでとは違った面白さを感じています！

パルム 私はとにかくYMCAのみんなに会いたい気持ちが一番です。いつでもリーダー時代の心に戻れるし、行ったら後悔することは絶対なくて、いつも『行ってよかった』と思えるんです。

ねこピン 同期内でのYMCAに対する熱量が強めなこともあって、『ずっとYMCAに関わっていく』と当たり前に思っていました。卒業してからもYMCA日和田高原キャンプ場に行ったり、インターナショナル・チャリティランで仮装して走ったり。OGだからという特別な気持ちを持つわけでもなく、今まで通り楽しく活動に参加させてもらっています。

ゴールド 大学一、二年生の頃は卒業リーダーが関わる姿を見る機会は少ななくて、ちょっと遠い存在に感じていました。（次頁へつづく）

いんどんリーダー (河合 皓太)

2016年卒 小学校教員
今年卒業から10年目！
名古屋市の小学校で
5年生の担任をしています

ゴールドリーダー (加藤 愛)

2024年卒 大学院修士1年
文化財建築や建築史を専攻
就職活動に忙しい毎日です

ねこピンリーダー (小笠原 彩)

2024年卒 SE
IT企業のエンジニアとして
日々勉強をしています

パルムリーダー (秋山 朋葉)

2024年卒 小学校教員
静岡市の小学校で
教師をしています

みつりリーダー (石橋 遼大)

2022年卒 SE
大学院卒業後 今年入社
エンジニアをしています



ゴールド でも、みつっリーダーや近い先輩たちが卒業後も活動にきているのを見て、『こういう関わり方もあるんだ』と思えたのがきっかけです。

みつ Y M C A でできた仲間関係をそのまま続けたいと思って O B でも関わっています。仲間と集まるなら、名古屋の居酒屋よりも Y M C A 日和田高原キャンプ場で集まりたい。だから O B になっても日和田に行くのは当たり前前の選択肢でした。

—— 今後の関わり方について

かんとく リーダー同期や同時期に活動を共にした仲間との絆の強さが伝わってきますね。では最後に、これからもリーダー O B ・ O G として、名古屋 Y M C A にどう関わっていききたいのか教えてください。

ねこピン 四年間の活動の中で、ワイズメンズクラブの方々との交流が自分にとって幸せな時間のひとつでした。今年度も名古屋 Y M C A 大会の実行委員に声をかけていただき、皆さんの元気な姿からパワーをいただけて嬉しかったです。Y M C A 大会を中心に、名古屋 Y M C A に携わる幅広い年代の方々が交流できる機会をつくっていききたいです！

ゴールド 卒業後にリーダー・トレーニングに参加して、リーダーのご飯の準備やスタッフの裏方の動きを知りました。人手も必要だし、行ったら楽しいし、悩む理由もなかったです。自然に O G としての関わり方に入れたのが大きかったです。また、今年八月に引率者として口サ

ンゼルスキャンプに行かせていただきました。かんとくリーダーから直接声をかけてもらったのがきっかけです。社会人だとスケジュールが難しいですが、私は学生で時間を作れたので参加できました。英語でスタッフと連携したり、ロサンゼルスの子どもたちと日本の子どもたちをつなげたり、四年間ではできなかった経験ができて本当に楽しかったです。

みつ Y M C A で出会った価値観の近い仲間は、社会人になってからはなかなか出会えません。だからこそ学生時代の仲間と関係を続けていきたいです。卒業して三年ですが、この機会がなくなることは考えられません。これからも年々一、二回は Y M C A 日和田高原キャンプ場にいると思います。

いんどん Y M C A 日和田高原キャンプ場が大好きなので、毎年一回は行きたいと思っています。今は名古屋 Y M C A 大会の実行委員長をやらせていただいています。これからも様々な形で Y M C A と関わっていききたいと思っています。

—— Y M C A の使命を考える

かんとく Y M C A の使命である「社会や地域への貢献」について、もう少し広い視点で感じていることはありませんか。

ゴールド リーダー活動では、みんなのできることを考えていくのが大事だと思います。具体的に何かと言われると難しいですが、もし私にできることがあるならぜひ関わりたいし、どこかに貢献できるなら嬉しいですね。

かんとく パルムリーダーは日本 Y M C

A 大会の実行委員長も務めましたね。

パルム はい、すごく良い経験でした。名古屋 Y M C A だけではなく、全国の Y M C A の方々と関わることで、世界のことも知れました。知らない場所に出てみて、たくさん新しいことを知ったのは大きな経験になりました。

かんとく そういえば、みつっリーダーも日本 Y M C A 大会の実行委員長でしたね（笑）

みつ 卒業する年の集大成という印象が強かったです。おちゃらけつつもバシッと過ごす、そんな今までやってきた事がすべて振る舞えた実行委員長でした。キックオフミーティングから当日まで、すべてのやり取りが鮮明に残るほど気合が入っていて、リーダーをやっている良かったと思えるシーンのひとつです。

—— まとめ

かんとく 皆さんのお話を聞いて、Y M C A にはまさに『みつかる・つながる・よくなっていく』場面がたくさんあることを改めて感じました。これからも様々な活動を通して、奉仕をしながら、新しい人と出会い、互いに学び合う関わりを続けていきたいと思います。さらに、Y M C A 運動を担う新しい形のリーダーとして、学校法人や公益財団法人の働きにも参画していただければ、新しい世代が創る新しい Y M C A が誕生するだろうと希望を感じることができました。本日は、お越しいただきありがとうございました。

かんとくリーダー (中村 隆)

名古屋 YMCA 総主事
今回、新春座談会の MC を
務めさせていただきました



今回は新春座談会と題し、名古屋 YMCA に携わっていただいている元リーダーの皆さまにお話を伺いました。異なるバックグラウンドをもつ人々が YMCA を通してつながり、広がっていくことを誇りに思います。またの機会にお会いしましょう！

イベント報告

クリスマスカード交換プロジェクト

名古屋YMCAの子ども英語クラスでは、海外ネットワークを活かしたクリスマスカード交換を行っています。これまでに、ロサンゼルスYMCA、HeartsoftheValleyYMCA(アメリカ・アラバマ州)、YMCABC(カナダ・ブリティッシュコロンビア州)、AlbayYMCA(フィリピン・アルバイ州)の協力を得て、プロジェクトを実施してきました。今年は、夏休みのロサンゼルスキャンプでも訪問したTorrance-



SouthBayYMCAの子どもたちとカード交換を行います。

プロジェクトの主な目的は、「海外のYMCAの仲間たちと一緒にクリスマスを楽しむ」「地球市民の一員であることを実感する」「英語を自分の言葉として楽しく使う体験を提供する」の3つです。このプロジェクトは、多くの子どもたちにとって、初めて他者のために英語を使う、貴重な機会となっています。プロジェクトを通し、多くの子どもたちに、世界の仲間とつながる楽しさや、英語を自分の言葉として使う自信を育んでほしいと考えています。(担当スタッフ 広瀬謙一)

ハーベストクラブの一年

春先のジャガイモの植え付けから始まり、玉ねぎやジャガイモの収穫。玉ねぎは名古屋YMCAの各拠点に贈呈し、YMCA日和田高原キャンプ場へは約500個を贈ることができ好評でした。そしてサツマイモの植え付け、例年にない猛暑の中の草取り、水やりを経て秋の収穫。農園には、YMCAの園児や関係者を含め400名以上が来園され、芋ほりやピザ作り、草滑りなど秋の一日を楽しみました。南山寮や名広愛児園の子どもたちを招くこのプログラムは40年以上にわたり、ハーベ



ストクラブのメイン行事として皆楽しみにしています。「希望の家」「愛美の会」の方々は、車いすを降り土に親しみ芋ほりをしました。また、かりやYMCA保育園の園庭畑の一期工事を完成させ、園児とともに新年用の玉ねぎを植え付けました。さらに7月の七夕には、幼稚園と保育園へ「笹だけ」を提供することができました。

ハーベストクラブの活動はささやかではありますが、いつでもYMCAと共にありメンバー一同この活動に誇りをもっています。YMCAに連なるとなても歓迎しますので是非一緒に農作業を楽しみましょう。ご連絡お待ちしております。

(南山ハーベストクラブ 荒川 文門)

新年礼拝

毎年、名古屋市昭和区にある日本基督教団桜山教会において新年礼拝を行い、新たな一年の歩みを始めています。桜山教会で新年のスタートを切るのには理由があります。1945年3月、戦争被害により当時の瓦町会館が焼失しました。翌年1946年1月、桜山教会のご厚意によって教会内に事務所を置かせていただき活動を再開、再建への第一歩を踏み出すことができました。こうした歴史的背景から、新年の第一歩を桜山教会から始めているのです。

私自身も桜山教会会員であり、この場所から一年をスタートできることを、大変うれしく思います。現在も世界では戦争や紛争が絶えません。平和のうちに歩めていることを神様に感謝しつつ、名古屋YMCAの働きがより良いものとなるよう、祈りと共に新年を歩み始めたいです。（担当スタッフ 中井 信幸）



維持会員感謝・ご寄付感謝

※ご寄付をいただくタイミングによっては、掲載が前後する場合がございますのでご容赦ください

維持会員(継続)

加藤 朱美	山口 幸子	松浦 剛	松浦みち子	川本 龍資	川本 清美	永田 愛弓	田島 祥子
川本梨紗子	竹本 未佳	桐原りずむ	柳生 祥子	正木由樹奈	渡邊 采	中山 結麻	森永 有美
都築 正和	堀尾 賢	河内 珠江	遠藤恵美子	原田 和実	中井 信幸	東田 美保	磯見 あや
瀬川 景子	広瀬 謙一	伊藤 美恵	古賀 千尋	谷口みはる	水谷 公亮	磯谷美栄子	清田 真美
清水美佐子	関谷 久恵	吉田 奈央	溝口麻衣子	大谷 多恵	足立 智美	山田 公子	木村 優花
万福寺昭美	竹内奈津実	小澤真生子	池田 咲月	福田 樹	岩井 羊一		

寄付金・募金

(国際協力基金)

竹田 えま	竹田ももは	中井 信幸	加藤 明宏	大嶋かずあき	大嶋れいか	東田 美保	大野 莉央
服部 稜	遠藤恵美子	原田 和実	三ツ井多美子	高木ネイサン悠人	YMCAかみさわ高学年生		

(クリスマスキャロル)

名古屋東海ワイズメンズクラブ

(クリスマス献金)

吉川 裕子	川口 士郎	木村 幹夫	鬼頭美恵子	加藤 明美	岡本 栄世	後藤田典子	浅野真紀子
山本 徹	原 寛	平尾 泉	渡辺 孝	磯部 徹	牛田賢一郎	義井 裕子	高橋 榮一
杉山 弘時	山口 幸子	荒川 恒子	野田真奈美	金井 幸恵	倉田 玲子	西村 清	神野 啓子
大岩由美子	渡辺 真悟	加藤 明宏	東田 美保	漆畑 澤	小島とよ子	松浦そよか	土師 陽之
鬼頭 榮椰	瀬川 景子	小尾 雅彦	小尾 昌代	大野 莉央	服部 稜	鬼柳 隼大	臼井 花那
李 一誠	細萱 柚希	江原蒔百合	久松 瀬夏	三宅 勘太	河治未音那	村松 依菜	山田 輔
西川 芽郁	小林 らん	富田 詩宇	富田 奈柚	坪井陽菜葵	坪井陽和凜	福嶋 悠斗	北原琉妃亜
山本 彩人	丹羽 花音	猪瀬 結鶴	堀 琴葉	水野 紡風	塚本 凌宇	塚本 浩宇	木村 碧
木村 洸	泉 莉玖	加藤 匠	守田 湊人	杉浦 碧	高橋 咲季	中山 結麻	竹本 未佳
渡邊 采	高井 文	馬場美菜子	深谷 萌菜	大田美沙華	土岐 朋楓	水野かきつ	酒井 陽向
森永 有美	橋本 啓	相馬 朋子	相馬 静香	鈴木 康	近藤 芙実	河合 薫	河合 悠
岸田 和平	澤本 航世	牧野 和博	菱川 莉子	橋本 直哉	角谷奈々帆	井出みのり	井出 吉星
松ヶ谷心花	安野 凱雄	平山 翔	石垣 憲	藤本 壘	野村 僚子	原田 莉奈	堀 めいさ
正木由樹奈	板井 裕美	酒井 沙織	小久保茉穂	坂屋 駿介	大林 友香	柳生 祥子	久保田美代子
大嶋かずあき	大嶋れいか	佐口 鈴寧	優季 聡人	野村 関根	山下 中野		
オモオモレギーゲームスエヒーム	グエン ザーカン						
グエン カージー	匿名	有限会社エイコー					

早天祈禱会 1月はお休みです

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ	052-879-6300
かりやYMCA保育園	0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2025年度聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)



2026年2月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日（月刊定価1部60円）
（購読料はYMCA会費に含まれています）
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村 隆
●編集人 名古屋YMCA広報

YMCA News

2・3

ピンクシャツデー
2026年度テーマ

あなたならどうする

ピンクシャツデー実行委員長 鈴木 翔子
(リーダーOG)

今年のピンクシャツデーのテーマは「あなたならどうする」。

この問いかけは、誰かに正解を教えてもらうためのものではありません。目の前で起きている出来事に対して、自分自身はどう感じ、どう行動するのかを考えるための言葉です。

ピンクシャツデーは、ピンク色のものを身につけることで「いじめ反対」の意思表示を行う日です。その始まりは、カナダのとある学校で起きた出来事でした。ある日、ひとりの男の子がピンク色のポロシャツを着て登校したことをきっかけに、「ゲイだ」とからかわれ、いじめを受けました。その状況を見た二人の男子学生は、「みんなでピンク色のものを身につけて学校に行こう」と呼びかけます。その呼びかけに多くの生徒が賛同し、翌日、学校はピンク色に染まりました。そして、いじめは自然と止んだのです。

この出来事が教えてくれるのは、やってはいけないことを知っているだけでは、いじめはなくならないということです。大切なのは、自分で考え、相手の立場を想像し、行動に移すことです。二人の男子学生は、言葉でも力でもなく、行動によって「それはおかしい」と示しました。

いじめは学校の中だけで起こる問題ではありません。職場や地域、インターネットの世界など、大人の社会にも身近に存在しています。見て見ぬふりをすることも、知らないふりをすることも、結果としていじめを続かせてしまうことがあります。だからこそ、子どもから大人まで、すべての世代がいじめと向き合い、「自分ならどうするか」を考える必要があります。

AIに聞けば、すぐに答えが返ってくる時代です。しかし、人の気持ちに寄り添い、正解のない問いに向き合うことは、誰かに任せることはできません。ピンクシャツデーの原点となった二人の学生のように、自ら考え、小さくても良い行動を選び取れる人でありたいと思います。

いじめを止める方法に、ひとつの正解はありません。しかし、傍観者でいないと決めること、自分ではない誰かのために行動することは、確実にポジティブな連鎖を生み出します。「あなたならどうする？」

その問いを胸に、まずはピンク色のものを身につけることから、いじめのない社会への一歩を踏み出していきましょう。

名古屋YMCAでは毎年、キッズプログラムに所属する子どもたちや、幼稚園・日本語学院に通う生徒、そしてスタッフが共に、いじめについて考え、思いを共有する場を設けています。今年は、いじめを受けている子どもがいたときに「自分ならどのように行動できるか」を考えるワークに取り組みます。相手の立場を想像し、自分と相手の両方を大切にすること。行動について考えることで、思いやりの心を育んでいきます。ワークで使用する紙は各拠点で掲示する予定ですので、ぜひご覧いただき、「あなたならどうする」を考えてみてください。

また、ユースボランティアリーダーによる問いかけフリップの制作や、いじめ反対のメッセージをSNSで発信していきます。投稿へ「いいね」や「共有」をお願いします。みなさんもピンク色のものを身につけ、「#ピンクシャツデー」「#YMCAPINK」のハッシュタグとともに投稿してください。SNSを通して、いじめに反対する思いを広げていしましょう。



Instagram

ピンクシャツを着て
投稿してね！
#ピンクシャツデー #YMCAPINK

Facebook



Youtube

紙芝居
配信中！

アフタースクールFun! 卒業生インタビュー

名古屋YMCAが運営する学童保育「アフタースクールFun!」でも、卒業の季節が近づいてきました。今回は、田代小学校6年生の齋藤泰海(さいとう たいが)ちゃんと、春岡小学校6年生の近藤芙実(こんどう ふみ)さんが、インタビューに答えてくれました。

Q1 楽しかった遊びは？

たいが：女子チームと男子チームに分かれて戦いごっこをしたことです。自分たちでルールを考えながら、みんなで本気で勝負したのが楽しかったです。
ふみ：ジョイントマットを使って家を作って遊んだことです。みんなで協力して工夫しながら作るのが楽しかったです。

Q2 長期休みのプログラムの思い出

たいが：モリコロパークに行ったことと、リニア・鉄道館です。特にグリーン車で遊んだのが楽しくて、友達とたくさん話したのが印象に残っています。
ふみ：シアターでみんなと映画を観たことと、きもだめしです。部屋を暗くして、みんなで脅かし合って遊んだことが楽しい思い出です。



Q3 中学生になって頑張りたいことは？

たいが：勉強です。小学校より難しくなると思うので、しっかりついていけるように頑張りたいです。
ふみ：勉強と友だち作りです。新しい環境でも、自分らしく楽しみながら頑張りたいです。

Q4 Fun! に来てよかったこと

たいが：他の学校の子と関われたことです。学校だけではできない交流ができて、友だちの輪が広がりました。
ふみ：高学年の子や他の学校の子と仲良くなれたことです。いろいろな人と接することができて楽しかったです。

Q5 Fun! のみんなに一言

二人：これからも、たくさん遊んで、たくさん思い出を作って、YMCAを思いきり楽しんでください！

たいがくん、ふみさん、卒業おめでとう！インターナショナル・チャリティーランに参加してくれたり、年下の子に優しく接してくれたり、二人は行動でFun! のみんなを引っばってくれる存在でした。残りの小学校生活も思いきり楽しんでください。中学校でのさらなる成長と活躍を心より応援しています。いつでもYMCAに遊びに来てくださいね。

(担当スタッフ 瀬川 景子)

新年度キッズプログラム募集

2026年度キッズプログラムの会員募集を開始しました！体操やサッカー、バスケットボール、イングリッシュ、学童保育、野外活動などなど・・・様々なクラスをご用意しております。子どもたち一人ひとりと向き合い、心身共に成長できるプログラムの運営を目指

していますので、多くの方にご参加いただければ幸いです。お知り合いにお子様の習い事をご検討中の方がみえましたら、ぜひご紹介ください。また、すべてのクラスで体験および見学が可能です。気になるクラスがございましたらお気軽にお問合せください。



申込期間：2月5日(木)10:00～23日(月)23:59

申込方法：右記QRコードより
WEB申込

クラス詳細はHPをご確認ください♪



※途中入会・体験も可能です。上記期間外の申込は電話受付となります。

クリスマス献金感謝

名古屋YMCAでは2025年12月1日～2026年1月31日にかけて、クリスマス献金を実施しました。この献金は毎年クリスマスの時期に行っており、「青少年基金：ユースボランティアリーダー育成や貧困児童対策学童キャンプ支援」「国際協力：留学生支援」「地域支援：クリスマスキャロル」といった活動支援金として大切に用いさせていただきます。今年も多くの方々からご支援をいただき、心より感謝申し上げます。今後も活動を継続していくと共に、趣旨への理解・賛同が広がっていくよう努めていきます。

2025年度合計金額 **447,060円**



2025年度クリスマスキャロルの様子
練習や当日の会場変更がありましたが、クリスマス献金のおかげで継続でき、素晴らしい地域交流の場となりました



名古屋YMCA クリスマス献金ご協力をお願い

私たち名古屋YMCAは、困難な状況にある人々に寄り添い、地域・世界・地球の課題解決に向けて活動しています。クリスマスを迎えるにあたり、すべての人が生命の大切さを感じ、他者へのいたわりと分かち合いの気持ちをもち、共に生きる社会のため、本献金は捧げられます。国内では社会的に弱い立場に置かれている人々が厳しい冬を迎えます。世界各地では多くの人々が貧困や飢饉、戦災のために苦しんでいます。私たち一人ひとりが、誠実に、平和を生み出す小さな働きを行っていくことが大切です。この時期にどうぞ皆さま、クリスマス献金へのご協力をよろしくお願いいたします。

受付期間：2025年12月1日(月)～2026年1月31日(土)
献金方法：各YMCA窓口 or 下記銀行口座へのお振込み
振込口座：三菱UFJ銀行 きよなみ支店(普) 1117998 公益財団法人名古屋YMCA

クリスマス献金は、何に使われるの…?

青少年育成

- ユースボランティアリーダーの育成**
ユースボランティアリーダーは子どもたちと直接関わります。野外活動における安全確保や技術習得、プログラム作成等のトレーニングを行います。
- 貧困児童対策**
貧困児童問題に目を向け、「すべての子どもたちに自然体験を」という願いのもと学童キャンプを実施しています。ユースボランティアリーダーと共に、安全で実りある夏休みを過ごします。

国際協力

- 国際理解**
コロナ禍で希薄になっていた日韓ユースセミナーが復活し、対面実施が叶いました。交流によって互いの文化を理解し合う、青少年育成の場となっています。
- 留学生支援**
物価高騰の影響を受け困窮する、YMCA日本語学院の留学生の生活支援を行います。また、生徒数は増加傾向にあるため、受け入れ体制の拡張・整備を行っています。

地域奉仕

- 地域交流**
幼児から成人で編成された聖歌隊が、讃美歌やクリスマスキャロルを合唱し、クリスマスの喜びを市民の皆様に伝えています。20年以上続く伝統行事として、会員同士の交流の場にもなっています。
- 地域関係団体と共に**
様々な団体と協働し地域へ貢献すると同時に、名古屋YMCAの理念や取り組みへの理解を進めています。近年では、社会の変化に対応した広報活動も工夫しています。

総主事コラム

平和を創る食卓

昨年末のことです。いつもお世話になっている韓国料理屋で早めの夕食を取っていると、仕切り越しの隣の席に二人の外国人女性が座りました。声に聞き覚えがあったので覗いてみると、YMCA日本語学院の卒業生でした。卒業後も連絡を取り合い、その日は四人での食事会。ベトナムとネパール、そこにミャンマーとドイツが加わり、立派な国際会議の成立です。

在学中にしっかり学んだ彼女たちは、今は全員大学生。共通言語は当然のように日本語です。多文化共生社会を目指す日本語学校の卒業生が、国籍を超えて楽しそうに歓談している姿に嬉しさが込み上げます。オープンマインドな彼女たちは、年の離れた私にも壁をつくらず、さまざまな話を聞かせてくれました。

残念な話としては、「実は大学はあまり面白くない。授業を前の方で真剣に聞いているのは留学生ばかりで、日本の学生は後ろの席で寝ていたりスマホを見ていた

りする。日本語学校の方が楽しかった。」ということ。志を持って異国に来て目的を持って学ぶ留学生と、目的が明確でなく将来を模索している日本の学生との意識の差を感じずにいられません。

一方で嬉しい話もありました。お酒が好きなのにその日はお茶を飲んでいたドイツの学生。実は子どもを授かっており、一度ドイツに帰国して出産してからもう一度に日本で学び直すそうです。結構大変そうな話を明るく前向きに話す姿に、思わず「あっぱれ」です。日本にある韓国料理屋で、ベトナム、ネパール、ミャンマー、ドイツの留学生が初老のおじさんと何気なく語り合っている光景は、まさに「平和」そのものだと思います。彼女たちのような若者がいる限り、私たちの平和は守られると確信したステキな時間でした。

その時間があまりにも嬉しくて、先に黙って食事代を支払って帰りましたら、丁寧な日本語で書かれたお礼の手紙がお店に預けられていました。最後までステキな私たちの卒業生です。

(中村 隆)



毎年2月の最終水曜日、全国のYMCAで開催される『ピンクシャツデー』。
“いじめや差別をなくそう”をテーマに、様々な取り組みを行っています。
言葉や暴力ではなく、行動でいじめ反対の意思表示をしましょう！

名古屋YMCAでは、YouTubeやInstagram、Facebookを活用し、いじめ反対のメッセージを発信しています。みなさんも一緒に、SNSを通じてピンクシャツデーについてメッセージを広めてください！ピンク色のものを身につけて撮った写真を#YMCAPINKのハッシュタグと共に投稿してください！

動画見てくださーい!!



自分ならどのように行動できるか？

名古屋YMCAはピンクシャツデーの取り組みとして、「自分ならどのように行動できるか」を考えるワークを行っています。現在池下本館では、いじめに遭遇した場合に自分がとる行動を考え選択するアンケートを掲示しています。クラスに通う子どもたちは、様々なシチュエーションを具体的に想像しながら回答していました。いじめをしない・なくすことも大切ですが、傍観者にならない重要性が伝わればよいと考えています。

このワークは子どもだけでなく、保護者やボランティア、

スタッフ、名古屋YMCAに訪れた方でしたらどなたでも取り組んでいただけます。ぜひご参加ください。



維持会員感謝・ご寄付感謝

※ご寄付をいただくタイミングによっては、掲載が前後する場合がございますのでご了承ください

維持会員（継続）

鬼頭美恵子 深尾 俊雄 三口 大登 三口あゆみ

寄付金・募金

（国際協力募金）東海教会 和田 芳子

（一般寄付）加藤 美乃

（クリスマス献金）

伊藤恵以子	三口 大登	松本 勝	大崎 大和	大崎 健	山崎 想大	亀村 奏太	亀村 彩葉
小林 稜	岩井 稜平	土屋 俣子	大須賀章子	池田 光規	池田 光穂	済田 真美	長谷川清二郎
酒井 浩輝	山本 和子	高木 皓平	鷹羽響太郎	梅村 真央	磯村 佳子	磯村 彩太	磯村 唯太
山本 恵真	山本 陽康	山本 勇理	水谷 晋祐	水谷 梨央	春日 裕忠	下村 徹嗣	橋爪 良和
和田 芳子	中井 信幸	古賀 千尋	田邊英里香	加藤 早織	鶴田 志帆	鶴田 翔己	服部 朋葉
伊藤 遥人	川越 康平	遠藤恵美子	清水美佐子	匿名			
日本基督教団御器所教会	こひつじ保育室	株式会社矢場とん	東海教会				

早天祈祷会

日時 2月3日(火) 7:45～
会場 名古屋YMCA5Fチャペル
奨励 愛知老人コミュニティーセンター
宗教主事・施設長 小田部正一先生

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ	052-879-6300
かりやYMCA保育園	0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2025年度聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)

YMCA News

7.8

キャンプで育まれる豊かな心

キャンプでは楽しいこと、心がワクワクすることがたくさんあります。数日前に会ったばかりのお友だちやリーダーにまた会おうね！と、約束するほど素敵な仲間を作ることでもあります。ですが、日常生活には無い、少し不便な体験や思い通りにいかないこともあります。その機会は、人に心を開き受け入れていく、人と人つながりかけにもなります。今年の夏休みも、これらの体験を大切に、ユースボランティアリーダーたちと豊かな心を育ていくキャンプを作っていきます。

(担当スタッフ 遠藤 恵美子)

きれいなものをきれいだと思える心

自然の中にはきれいなもの、おもしろいものがたくさんあります。「きれい！」「すごい！」と心が動く体験は、興味関心を広げてくれ、豊かな心を育てていきます。本物の自然、新たな発見は心をわくわくさせてくれ、心にずっと残っていきます。



想像する力

様々な価値観の人と触れ合うことで、新しい喜びや摩擦が生まれることもあります。その摩擦を解決しようとする時、相手がどんな気持ちだったのか想像してみます。相手の気持ちが想像できる思いやりの気持ち、違いを認め合える心が育っていきます。仲間と共に育ちあっていきます。



やってみたい!! 叶う場所

こっちの森の中を探検したい！川で魚を捕まえたい！など、こどもたちのやってみたい！を大切にします。子どもたちの主体的な遊びの積み重ねは、探究心が深まり、粘り強さ、集聚力が磨かれていきます。



大丈夫! もう1回!

活動の中では、うまくいかないこともあります。次はこうしたらどうかな？と考えてチャレンジする機会が多くあります。そこには、応援してくれる、一緒に取り組む仲間がいます。しなやかな心が養われ、チャレンジしてみたいと思える心が育っていきます。



自然に自分を合わせる

自然の中での活動は思った通りにはいきません。今ある環境の中で自分がどう変わったら、もっと楽しくなるだろう？と、考え行動していくことで、様々な変化に対応する力がついていきます。「大変だったな～」の気持ちは、次にどうしたら良いのか考えるきっかけ、想像力、強くしなやかな心に繋がります。



ともに喜び、考えてくれるリーダー

がんばった時ほめてくれる、一緒に考えてくれる、思い切り遊んでくれる、困った時に助けてくれる大学生のボランティアリーダーがいつもそばにいます。この体験は、子どもたちの自己受容、自信に繋がり、仲間のことを受け入れることに繋がります。先生ではないリーダーとの関わりは子どもたちにとって貴重な関わりとなります。



YMCA日和田高原キャンプ場

御嶽山のふもと1400mの高地に位置しており、夏でも日陰は涼しく、自然の中で思いきり遊ぶことができます。御嶽山に積もった雪が流れてできる川は、びっくりするくらい夏でも冷たく、とてもきれいな水が流れています。また、星空もびっくりするくらいきれいで流れ星も見ることができます。キャンプ場内では、野外料理やキャンプファイヤーができる場所もあります。また、ロープで丸太を結びツリーハウスを作ることにもチャレンジするキャンプもあります。名古屋YMCAのリーダーたちが大好きで、大切にしているキャンプ場です。



刈谷サッカークラス開講

2025年7月2日(水)から刈谷サッカークラスが開講します。開講に先立ち行われた体験会では、子どもたちが笑顔でサッカーを楽しみました。

名古屋YMCAサッカークラスの特徴は、個人の運動能力や体力に合わせて段階的に指導するため、初心者や運動が苦手な子でも安心して参加できることです。子ども同士や指導者とのコミュニケーションを大切に、



サッカーを通して子どもたちの自立心や協調性、あきらめない心を育てます。また、幼児から小学生年代の指導経験豊富な指導者が、ゲーム練習を中心に、サッカーの楽しさ・技術・戦術を伝えます。皆様のご参加をお待ちしております！（担当スタッフ 江藤 毅）

【場 所】かりやYMCA保育園 多目的グラウンド

【対 象】年中児～小学4年生

【曜 日】水曜日

【時 間】16:00～17:00(幼児クラス)

17:15～18:30(小学生クラス)

お申し込みやお問い合わせは
南山ファミリーYMCAまでご
連絡ください

☎ 052-831-6968



学童キャンプ支援のお願い

すべての子どもたちに、とびきりの夏の思い出を
名古屋YMCAでは、2016年から経済的に困難な家庭の子どもたちを招待する「学童キャンプ」を実施してきました。多くの方々の温かなご支援とご協力に支えられ、今年で10年目を迎えます。川遊びや野外料理、キャンプファイヤーなど自然の中での本物の体験を通して、子どもたちは心を動かし、生き生きと過ごします。多様な仲間との出会いの中で、共に生きる力も育まれます。今年も一人でも多くの子どもたちに、とびきりの夏の思い出をプレゼントしたいと思っています。

皆さまの温かいご参加・ご支援を、心よりお待ちしております。
(担当スタッフ 瀬川 景子)



【期 間】第1期 7月21日(月)～26日(土)

第2期 7月28日(月)～8月2日(土)

【場 所】YMCA日和田高原キャンプ場

キッチンボランティア大募集！

食事づくりや片付け、子どもたちの生活サポートなど、温かい役割を担ってくださる方を募集しています。

ご寄付・ご支援のお願い

ご寄付、お米・調味料等の食材支援、キャンプ運営に必要な物資のご支援を広く募っています。食材及び物資の支援の場合は、お電話にてご一報いただければ幸いです。

【連絡先】南山ファミリーYMCA ☎052-831-6968

【振込先】三菱UFJ銀行 きよなみ支店

普通 1117996

ザイ)ナゴヤワイエムシーエー

公益財団法人名古屋YMCA

日本語学校

先日、クラスでスピーチを行いました。テーマは「外国語学習の理由」です。自分が今までに学習した言語やその学習方法、外国語学習の良い点、将来とのつながりなど、様々な角度から皆さんの外国語学習の理由を聞くことができました。問題や悩みを抱えながら挑戦の日々を送っている学生が多いですが、このスピーチを通して、皆さんの日本語学習に対する熱い想いが伝わってきて、とても感動しました。日本語が好きで、日本を愛してくれている皆さんと一緒に過ごし、共に成長できる環境に感謝し、これからもずっと皆さんの夢のサポートができればと思いました。(小澤 真生子)



かりやYMCA保育園



年長クラスが5月28日、年中クラスが6月6日に、愛知牧場へ行きました。動物との触れ合いに、子どもたちは大喜び。ポニーのエサやりをしたり、ふれあい広場で動物を触ったりしました。柵から出てきたエミューから必死に逃げる子どもたちの姿は、今では笑ってしまう良い思い出になりました。またお弁当を食べた後は、南山教会へ行きました。初めての教会では何もかもが目新しく、「すごいね」「これはなんだろう!」と興味津々の様子でした。讃美歌を歌い、牧師の村山先生にお祈りをさせていただきました。園外保育は子どもたちにとって、様々な体験ができる貴重な機会であると実感しました。(桐原 りずむ)

総主事コラム

いのちを想う

日和田高原キャンプ場での夏のキャンプ準備を終えた帰り道の出来事です。木曽福島から中津川に向けて国道19号線を走っていると、一匹の子猿が車に轢かれて頭部から血を流して倒れていました。道路脇では親猿が心配そうに振り返っていましたが、交通量が多く、近づくことができません。一瞬の出来事で、私は何もできずに通り過ぎていくだけでしたが、親猿の悲しげな表情が今も目に焼き付いて離れません。

その前夜のことです。キャンプ場でシニアのボランティアが「おそらく巣から落ちたであろうスズメの子どもが道路にいたので、街路樹の下まで移動させたがそれで良かったのか」と話されており、バードウォッチングが趣味の鳥好きの若いボランティアが「それで正解です。親鳥は巣から落ちた雛にも餌を運び、世話をします」と応えていました。

また、その場にいた釣り好きのボランティアは、カジキやロウニンアジ(GT)を釣った経験を話されていまし

た。釣った後は基本的にキャッチ・アンド・リリースをするそうですが、実は大物であるがゆえに釣り上げるまでに時間がかかるので、リリースしても大半は死んでしまうという衝撃の結末でした。

守られた命、失われた命-すべての生き物には神様から与えられた尊い命があります。

2003年のイラク戦争では精密誘導兵器が大量に使用され、ITによる情報戦がメディアを通してリアルタイムに報道されました。今は、飛来するミサイルを防空システムで迎撃したり、ドローンを使って遠隔攻撃を行ったりする戦法が、まるでゲームのように報じられています。イスラエル軍によるガザ地区での死者数は約5万5千人、今またイランへの攻撃が始まりました。ウクライナやロシアでも多くの命が失われています。すべて作られた映像ではなく現実の出来事です。ひとり一人に尊い命が与えられ、それぞれが大切な人と共に生きています。私には、身近な命を大切にすることしかできませんが、平安な時が一刻も早く訪れることを祈ります。(中村 隆)

キッズワールドカップin韓国のご案内

今年も昨年に引き続き、8月8日(金)～12日(火)に韓国の高陽市(Goyang/コヤン)で行われるキッズワールドカップに参加します。この大会には韓国周辺の日本、中国、台湾、シンガポールなど様々な国のYMCAに通っている子どもたちが参加しており、サッカーを通して交流を深めていきます。

昨年度は初めての参加で名古屋YMCAからの参加は3人と少ない人数でしたが、今年は8人の参加になります。さらに東京YMCAの2人も含めた東京、名古屋混合のチームで大会に参加してきます。

大会ではGoyangYMCAの施設内にある広い人工芝のコートで思いっきりサッカーを楽しみます。サッカー以外にも、夜には、各国の子どもたちが歌やダンスなどを行うスタンツ大会やプレゼント交換などのレクリエーションがあり、4日目には近くの町まで観光に出かけ、本場の韓国料理や、ショッピングを楽しむ

など、イベントが盛りだくさんの5日間です。

プログラム期間中の様子は名古屋YMCAのInstagramから投稿いたします。(担当スタッフ 小島 陽)



	8/8(金)	8/9(土)	8/10(日)	8/11(月)	8/12(火)
午前	・集合 (8:00) ・中部国際 空港出発	・予選	・予選 ・開会式	・文化体験 ・観光	・閉会式
午後	・Goyang YMCA到着		・決勝戦 ・表彰式		・Goyang YMCA出発 ・中部国際 空港到着
夕刻	・ウェルカム ディナー ・練習 ・自由時間	・ウェルカム ディナー (親睦の夜)	・お楽しみ	・フェアウェル ディナー (別れの夜)	・解散 (18:40)

維持会員感謝・ご寄付感謝 (2025年5月20日～6月21日)

維持会員(継続) 鷲尾 文夫 小澤 幸男 杉山 弘時 土屋 俣子 橋爪 良和 橋爪 圭子 平尾 泉

賛助会員(継続) 名鉄六合株式会社 学校法人金城学院

寄付金・募金 (一般) 御器所教会

(ミャンマー地震緊急支援) 名古屋YMCA

(かみさわ保育園10周年記念基金) 竹本 未佳

早天祈禱会

日時 7月1日(火) 7:45～8:30 会場 名古屋YMCA チャペル 奨励 東海教会 和田 芳子先生

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ 052-879-6300
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2025年度聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)